

CONTENTS

CHAPTER 1 Windows 8.1 の基本操作 3

1 ● 新しい Windows エクスペリエンス	4
2 ● デスクトップを開く	6
3 ● デスクトップからスタート画面への切り替え	8
4 ● Windows ストアアプリの起動と終了	10
5 ● Windows アプリの一覧表示	12
6 ● Windows アプリの検索	14
7 ● コントロールパネルを開く	16

CHAPTER 2 日本語の入力 19

1 ● ワードパッドの起動	20
2 ● IME について	22
3 ● 日本語の入力	26
4 ● 文書をファイルに保存	32
5 ● 保存した文書を開く	34

CHAPTER 3 ファイルとフォルダーの操作 37

1 ● フォルダー内の参照	38
2 ● ファイルやフォルダーの一覧形式	40
3 ● ファイルやフォルダーの作成	42
4 ● ファイルやフォルダーの選択	44
5 ● ファイルやフォルダーの削除	46
6 ● ファイルやフォルダーの検索	48
7 ● ファイルやフォルダーの圧縮と解凍	50
8 ● CD や DVD ディスクにデータを書き込む	52

CHAPTER 4 インターネットとメール 59

1 ● Web ページを閲覧する	60
2 ● 特定の Web ページをスタート画面にピン留めする	62
3 ● お気に入り追加する	66
4 ● Windows Live メールインストール	70
5 ● Windows Live メールにメールアカウントを設定する	72
6 ● メール本文の作成	74

CHAPTER 5 Windows の各種設定 77

1 ● スタート画面の解像度を変更する	78
2 ● デスクトップの背景を設定する	80
3 ● スクリーンセーバーを設定する	82
4 ● 日付と時刻を設定する	84
5 ● デスクトップにショートカットを作成する	86
6 ● ユーザーアカウントを追加する	88
7 ● ピクチャパスワードを設定する	92
8 ● ローカルアカウントを Microsoft アカウントに切り替える	98
9 ● Microsoft アカウントをローカルアカウントに切り替える	106

CHAPTER 6 Windows のバックアップ 109

1 ● システムの復元	110
2 ● 回復ドライブの作成	114

CHAPTER 7 Windows のバックアップ 119

1 ● Windows キーを使ったショートカット一覧	120
-----------------------------------	-----

Windows 8.1 の 基本操作

本章では、Windows 8.1 の基本操作について説明します。

1 ● 新しい Windows エクスペリエンス	4
2 ● デスクトップを開く	6
3 ● デスクトップからスタート画面への切り替え	8
4 ● Windows ストアアプリの起動と終了	10
5 ● Windows アプリの一覧表示	12
6 ● Windows アプリの検索	14
7 ● コントロールパネルを開く	16

1

新しい Windows エクスペリエンス

新しい Windows エクスペリエンス

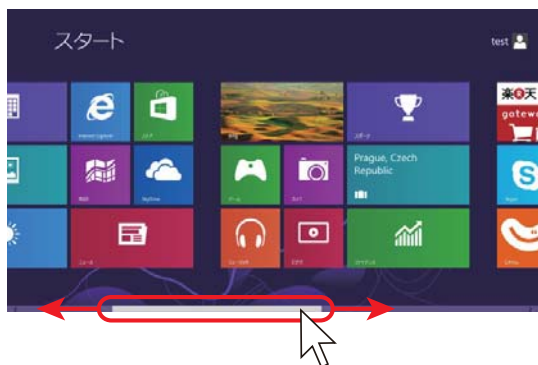
「新しい Windows エクスペリエンス」とは、Windows 8 から導入された新しいユーザーインターフェースです。プリインストールされたアプリケーションが、スタート画面上に「タイル」として敷き詰めているのが特徴です。パソコンを起動すると表示され、すべての作業の基本画面となります。



注意

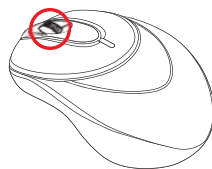
プリインストールされたアプリケーション及び、タイルの並びは使用環境によって異なります。また、画面表示の範囲についてもモニタ仕様によって異なります。

スタート画面全体が表示されていない場合は、マウスカーソルを画面下に移動させます。表示されたスライダーを左右に動かします。



ワンポイント

マウスホイールを使って画面スライドができます。



※ ロック画面が表示されたら

Windows 8.1 では、ログイン前にロック画面が表示されます。ロック画面が表示されたら、画面上で「クリック」もしくは、「Enter」キーを押して解除します。



注意

ロック画面の画像は、使用環境によって異なります。

次に表示されるサインイン画面でユーザーをクリックし、パスワードを入力します。



ワンポイント

パスワードを設定していない場合は、表示されません。

※ Windows 8.1 には、ローカルアカウントと Microsoft アカウントがあります。

●ローカルアカウント

パソコンに登録した個人を識別するためのユーザー名とパスワードの組み合わせを、ローカル アカウントと言います。ローカル アカウントはパソコンごとに設定されます。複数のパソコンをお使いの場合、設定は同期されません。そのため、「PC 設定の同期」の共有設定や一部の Windows ストア アプリで表示できないものがあります。新しいユーザーを追加する場合は、88 ページをご確認ください。

● Microsoft アカウント

Windows 8.1 へサインインするだけでなく、Microsoft が提供するサービスへのサインインに使用する電子メール アドレスとパスワードの組み合わせを Microsoft アカウントと言います。また、Microsoft アカウントは複数のパソコンで共有できます。「PC 設定の同期」などで関連付けられた電子メールアカウントに電子メールの送受信を行うことができ、同じアカウントを使用するパソコン間の設定を同期することができます。ローカルアカウントから Microsoft アカウントへの切り替えは、98 ページをご確認ください。

2

デスクトップを開く

Windows 8.1 では、最初にスタート画面が表示されます。スタート画面からデスクトップを開くには、いくつかの方法があります。

表示方法_1

1. デスクトップタイルをクリックして開きます。

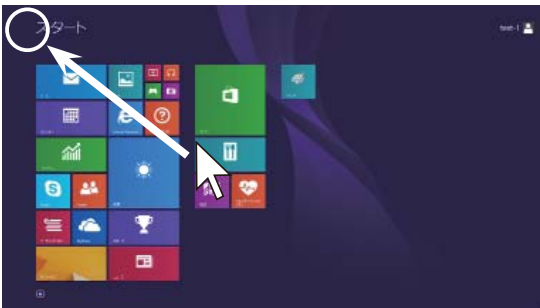


注意

タイルの位置やデスクトップの壁紙は、使用環境によって異なります。

表示方法_2

1. マウスカースルを画面左上に移動させます。

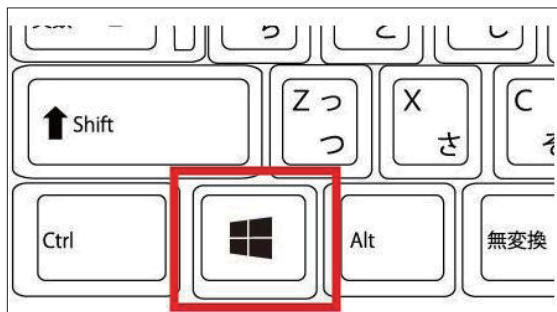


2. 小さく開いた Windows ログをクリックします。



表示方法_3

1. キーボード上の「Windows キー」を押すことで、スタート画面とデスクトップを切り替えることができます。



注意

キー配列は、製品によって異なります。

注意

Windows ストアアプリを開いていた場合、Windows ストアアプリとスタート画面が切り替わります。

3

デスクトップからスタート画面への切り替え

デスクトップからスタート画面に切り替える方法に、「Windows」キーを押す方法があります。その他にもマウスカーソルを使って切り替えることができます。

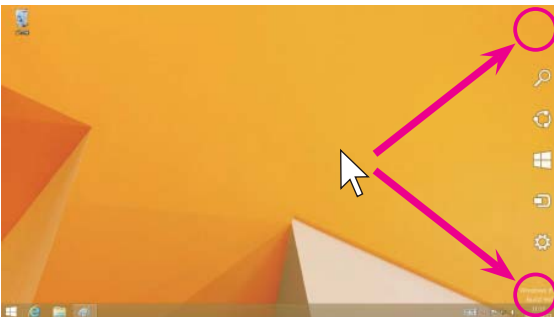
表示方法_1

1. 画面左下にマウスカーソルを移動させ、Windows ロゴをクリックします。



表示方法_2

1. 画面右上または、右下にマウスカーソルを移動させます。

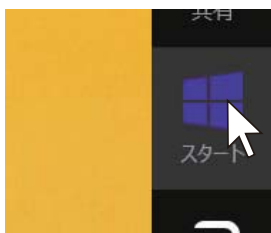


2.「チャーム」が表示されたら、「スタート」をクリックします。



ワンポイント

「Windows」キーを押しながら、「C」キーを押すことで、チャームを表示させることができます。



ワンポイント

チャームには、「検索」・「共有」・「スタート」・「デバイス」・「設定」の5つのボタンがあります。「設定」の内容については、起動アプリによって異なります。

3. スタート画面に切り替わります。



4

Windows ストアアプリの
起動と終了

Windows ストアアプリとは、新しいユーザーインターフェース (UI) 上で動くアプリケーション (カレンダー、地図、メールなど) になります。スタート画面上にあるタイルをクリックすることで起動できます。

ストアアプリの起動

1. 起動させたいストアアプリのタイルをクリックします。



注意

初回起動時 Microsoft アカウントでサインインする必要があるアプリケーションがあります。サインインを行ってからご使用ください。既に Microsoft アカウントでログインしている場合は、サインイン画面は表示されません。

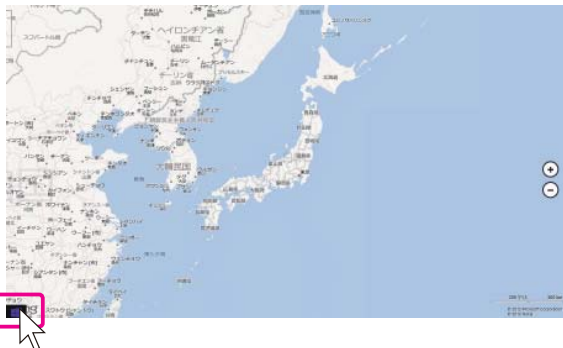
ワンポイント

Microsoft アカウントとは、Windows 8.1 のサインインなどに使用するメール アドレスとパスワードの組み合わせです。Microsoft アカウントを利用することで、Windows ストアでのアプリのダウンロード、Windows アプリ コンテンツの自動ダウンロードや、パソコンの設定をオンラインで複数のパソコンに同期することができます。Windows 8.1 へのサインインのほかに、Windows ストア、Windows Phone、Xbox Live、Hotmail、Messenger、SkyDrive などの Microsoft のサービスにサインインするために使用します。すでに Windows Live ID アカウントをお持ちの場合は、そのアカウントを Microsoft アカウントとして使用できます。

※「ローカルアカウントを Microsoft アカウントに切り替える」は、98 ページをご確認ください。

ストアアプリの終了

1. 開いているストアアプリを終了するには、一旦、スタート画面を開きます。画面左下にマウスカーソルを移動させ、Windows ロゴをクリックします。



ワンポイント

←ストアアプリの地図を開いています。

2. 画面左上にマウスカーソルを移動させ、開いていたストアアプリ画面を表示させます。

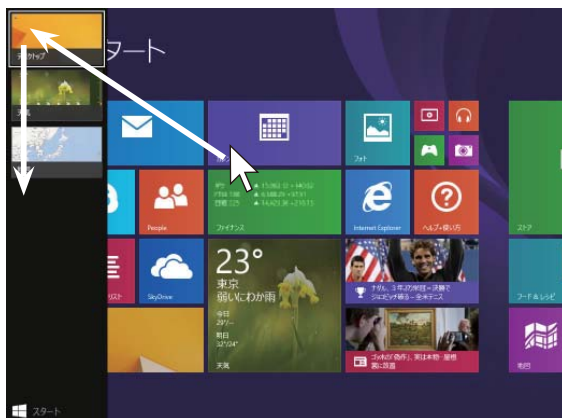


3. 小さい画面の上で右クリックし、「閉じる」をクリックします。



ワンポイント

他にもストアアプリを起動していた場合、マウスカーソルを画面左上に移動させ、更にマウスを下に移動すると、起動中のアプリ一覧が表示されます。



ワンポイント

「Windows」キーを押しながら、「Tab」キーを押すことで、起動中のアプリ一覧を表示させることができます。

5

Windows アプリの一覧表示

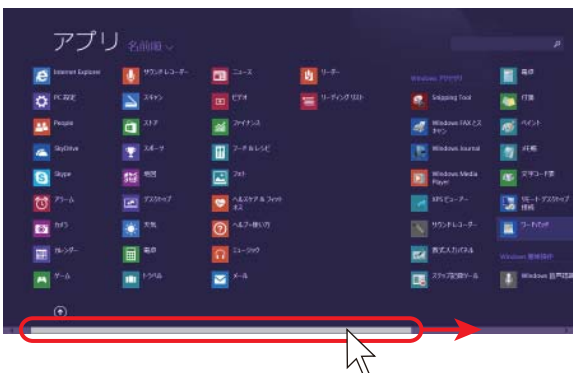
Windows アプリとは、Windows ストアアプリ（新しい UI 上で動くアプリ）とデスクトップアプリ（デスクトップ上で動くアプリ）の両方を指します。それら Windows アプリの一覧をスタート画面に表示させ起動させることができます。

アプリ一覧表示の手順

1. スタート画面左下の⓪アイコンをクリックします。



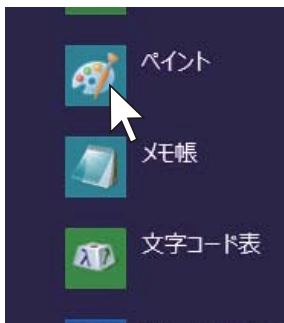
2. アプリ一覧が表示されます。画面全体が表示されていない場合は、画面下のスライドバーを動かします。



注意

画面表示の範囲は、モニタ仕様によって異なります。

3. 起動させたいアプリをクリックします。



4. スタート画面に戻るには、画面左下のⓂ️アイコンをクリックします。



6

Windows アプリの検索

Windows アプリを検索して起動させることができます。

アプリ検索の手順

1. 画面右上または、右下にマウスカーソルを移動させます。



2. 「チャーム」が表示されたら、「検索」をクリックします。



ワンポイント

「Windows」キーを押しながら、「C」キーを押すことで、チャームを表示させることができます。



3. アプリ検索窓にアプリ名を入力します。表示結果からアプリをクリックします。



ワンポイント

アプリ名を途中まで入力した段階で、途中までの名前にヒットするアプリ名が画面に表示されます。クリックすることで起動できます。



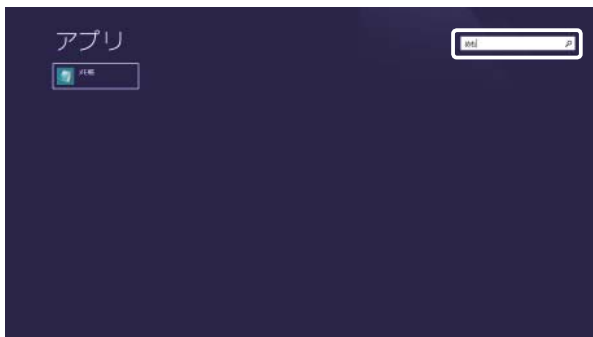
ワンポイント

アプリ一覧画面右上の検索アイコン「🔍」をクリックして、アプリ名を入力し検索することもできます。



注意

画面表示の範囲は、モニタ仕様によって異なります。



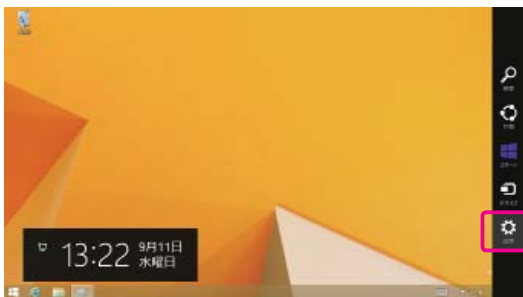
7

コントロールパネルを開く

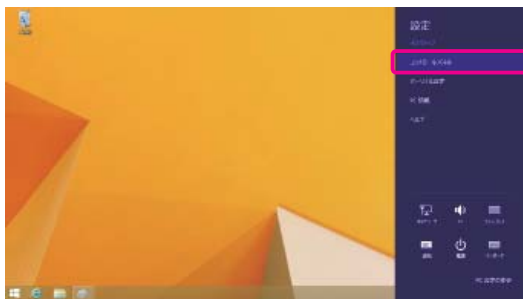
コントロールパネルは、Windows 8.1 の通信やネットワークに関する設定、ディスプレイやマウス、キーボード、プリンタ、音声などの入出力に関する設定など、基本的な設定を行うソフトウェアが集められたメニューです。コントロールパネルを開くには、Windows アプリの一覧や、アプリの検索を使って開くことができます。その他にもショートカットキーを使って開くことが可能です。

コントロールパネルを開く

1. デスクトップ画面上でマウスカールソルを画面右上または、右下に移動させ、チャームを表示させます。チャームが表示したら「設定」をクリックします。



2. 設定チャームが表示したら、「コントロールパネル」をクリックします。



ワンポイント

スタート画面左下の ④ アイコンをクリックし、アプリ一覧から「コントロールパネル」を開くことができます。

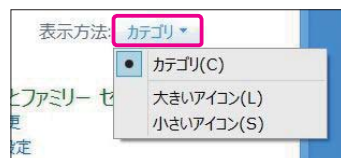


3. コントロールパネルが開きます。



ワンポイント

コントロールパネルの表示には、「カテゴリ」以外にも、「大きいアイコン」「小さいアイコン」があります。



●大きいアイコン

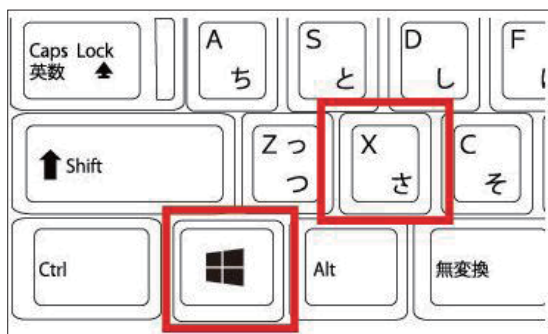


●小さいアイコン



ショートカットキーを使ってコントロールパネルを開く

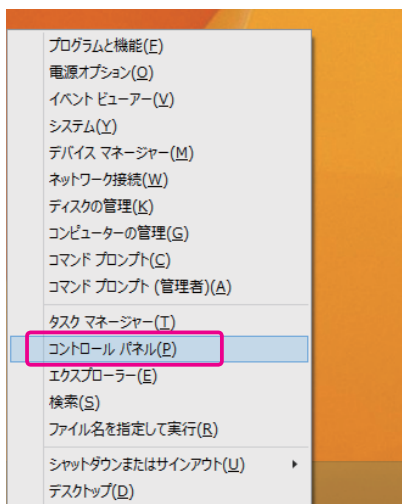
1. 「Windows」キーを押しながら、「X」キーを押します。



注意

キー配列は、製品によって異なります。

2. 画面左下にメニューが表示されます。「コントロールパネル」をクリックするか「P」キーを押します。



ワンポイント

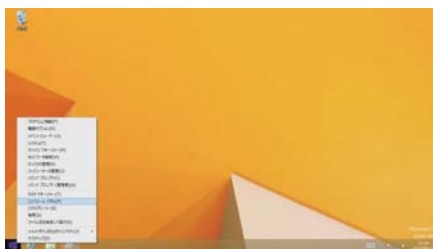
他のメニューも同じように、メニュー横のアルファベットを押すことで開くことができます。

ワンポイント

マウスカーソルを画面左下に移動させます。Windows ログオの上で右クリックすることで、メニューを表示させることができます。



右クリック



右クリック

日本語の入力

本章では、ワードパッドを使った日本語入力、および文書ファイルの保存について説明します。

1 ● ワードパッドの起動	20
2 ● IME について	22
3 ● 日本語の入力	26
4 ● 文書をファイルに保存	32
5 ● 保存した文書を開く	34

ワードパットの起動

ワードパットは Windows 標準搭載のワープロソフトです。ワードパットを起動して文章を作成します。

起動方法

1. スタート画面左下のⓐアイコンをクリックし、アプリ一覧を表示させます。

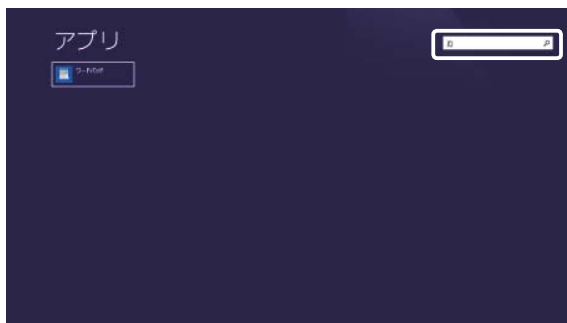


2. Windows アプリ一覧から「ワードパット」をクリックします。

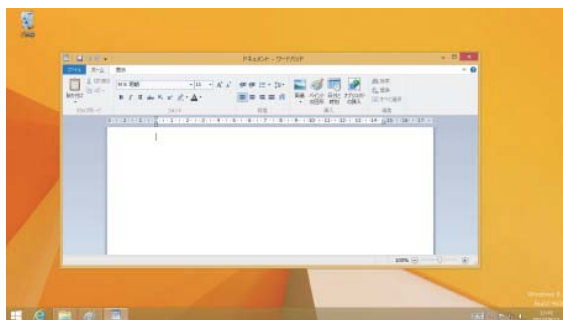


ワンポイント

「アプリ検索」からワードパッドを起動させることもできます。「アプリ検索」を使った起動方法の詳細については、14 ページをご確認ください。



3. ワードパッドが起動します。



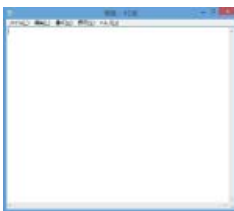
ワンポイント

Windows 8.1 の Windows アクセサリには、「ワードパッド」の他にも、お絵かきソフトの「ペイント」、テキストエディタの「メモ帳」、計算ソフトの「電卓」など、いくつかのアクセサリが付属しています。

● ペイント



● メモ帳



● 電卓



2

IME について

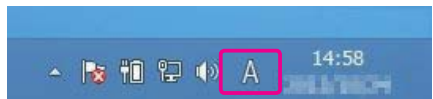
IME とは、日本語入力を制御するためのソフトになります。IME の基本について確認します。

IME の有効

Windows 8.1 では、IME が有効の状態です。日本語が入力できるように、画面左下に「あ」と表示されています。



IME 有効・無効 (半角 / 全角) の切り替えは、文字の上でクリックします。



ワンポイント

IME 有効・無効の切り替えは、「半角 / 全角」キーを押すことでも切り替えることができます。

文字の上で右クリックすることで、入力方法を選択するメニューや、IME 関連の設定などを行うことができます。



右クリック



デスクトップ上に「言語バー」を表示する

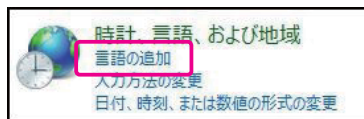
「言語バー」をデスクトップ上に表示させるには、「使用可能な場合にデスクトップ言語バーを使用する」にチェックを入れます。

1.「コントロールパネル」を起動し、「言語の追加」をクリックします。



ワンポイント

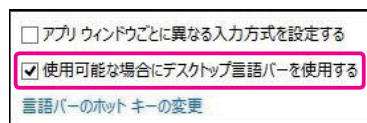
コントロールパネルの起動方法については、16ページをご確認ください。



2.「詳細設定」をクリックします。

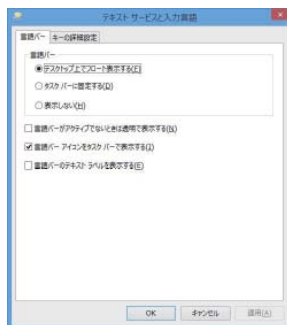


3. 「使用可能な場合にデスクトップ言語バーを使用する」にチェックを入れ、「保存」をクリックします。



ワンポイント

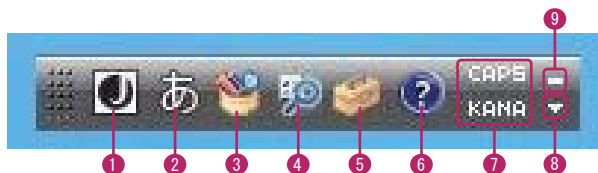
「使用可能な場合にデスクトップ言語バーを使用する」にチェックが入ると、「オプション」が利用できるようになります。「オプション」をクリックして、「テキストサービスと入力言語」を開きます。



4. デスクトップ上に「言語バー」が表示されます。



言語バーの詳細



① 入力方式

IMEのプロパティを表示・変更するときなどに使用します。

② 入力モード

入力する文字の種類を選択します。「ひらがな」「全角カタカナ」「全角英数」「半角カタカナ」「半角英数」「直接入力」のどれかを選択できます。「直接入力」を選択した場合には、キーボード上の文字が直接入力できます。

③ IME パッド

読み方のわからない漢字を、手書きや総画数、部首、音声入力などの方法で入力します。

④ 確定前の文字列を検索

検索プロバイダーを追加することで、確定前の文字列を使って、追加した検索サイトで調べることができます。

⑤ ツール

単語や用例を辞書に登録するときなどに使います。

⑥ ヘルプ

ヘルプを表示します。

⑦ CAPS/KANA

[CAPS] キー、[カナ] キーのロック状態を表示、切り替えを行います。

⑧ オプション

IME の設定等が行えます。

⑨ 最小化

最小化ボタンをクリックすると、言語バーがタスクバー内に収容されます。

☞ テクニック

言語バーをタスクバーに収めるには、言語バーの右端にある最小化⑨ボタンをクリックします。言語バーがタスクバーに収まります。タスクバーに収まると、最小化ボタンが復元ボタンに変わります。「復元ボタン」をクリックして、言語バーをデスクトップ上に戻します。

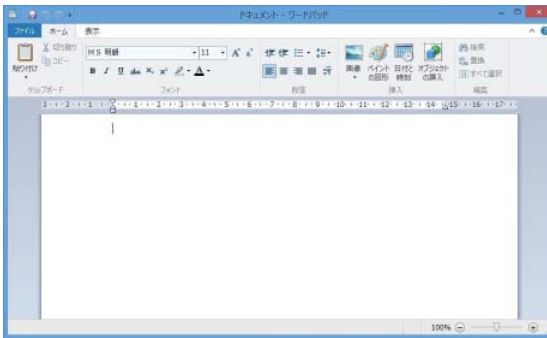


日本語の入力

IME が有効になっていることを確認します。ワードパッドに日本語を入力して、文書を作成します。

文字の入力と変換

1. ワードパッドに文字を入力します。例として「変換」と入力します。



ワンポイント

日本語の入力には、ローマ字入力と、かな入力があります。ローマ字入力の場合には、英字キーを使って、ローマ字読みを入力します。切り替え方法については、30 ページをご確認ください。

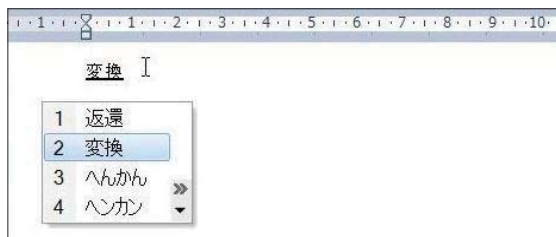
2. キーボードから「HENKAN」と入力します。



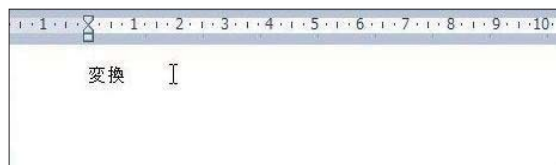
3. スペースキーを押します。最初の変換候補に変換されます。



4. スペースキーを押して、変換候補を選択します。

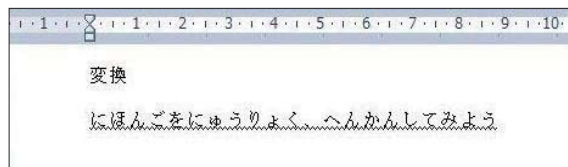


5. 「Enter」キーを押して、入力を確定します。

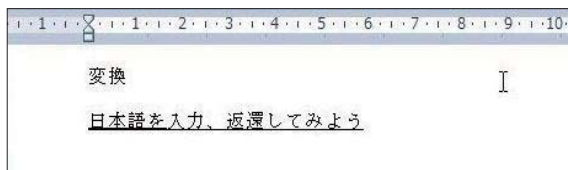


少し長めの文の入力

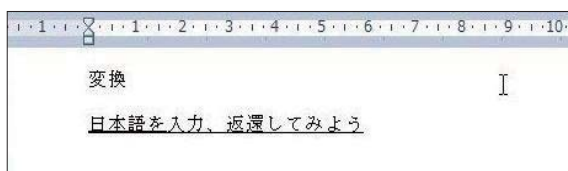
1. 例として「日本語を入力、変換してみよう」と入力します。



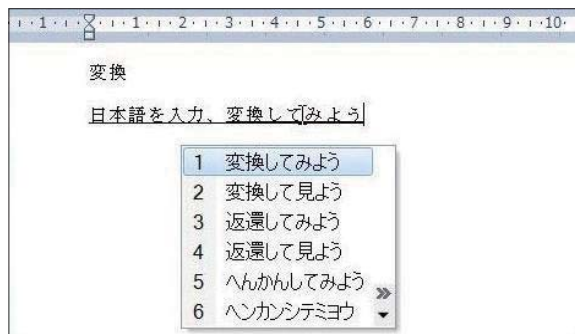
2. スペースキーを押します。読みがなが漢字変換されます。



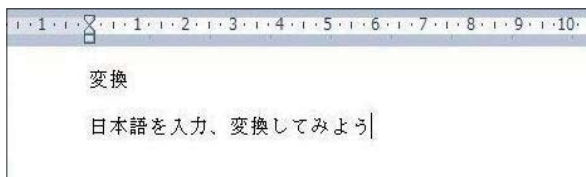
3. 「→」キーを押します。「返還してみよう」を選択します。



4. スペースキーを押します。選択した文節が、次の候補に変換されます。

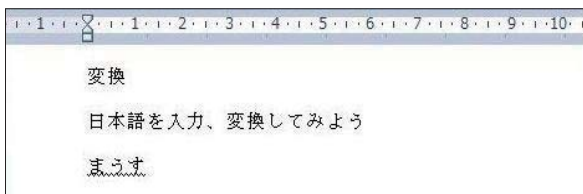


5. 「Enter」キーを押して、文全体の変換を確定します。

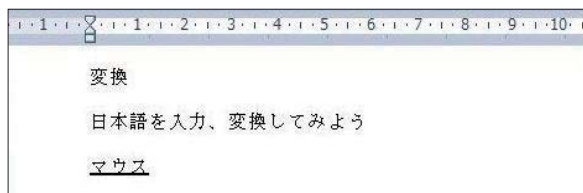


カタカナや英字の入力

1. キーボードから「mausu」と入力します。



2. 「F7」キーを押します。全角カタカナに変換されます。

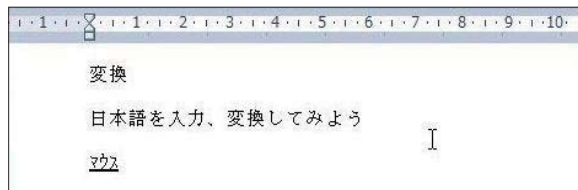


ワンポイント

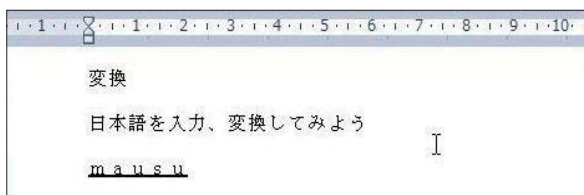
スペースキーでの変換以外にも、ファンクションキー「F6」～「F10」を使った変換が可能です。各ファンクションキーについては、以下の通りです。

- 「F6」キー
 - ・ひらがなに変換
- 「F7」キー
 - ・全角カタカナに変換
- 「F8」キー
 - ・半角カタカナに変換
- 「F9」キー
 - ・全角英字に変換
- 「F10」キー
 - ・半角英字に変換

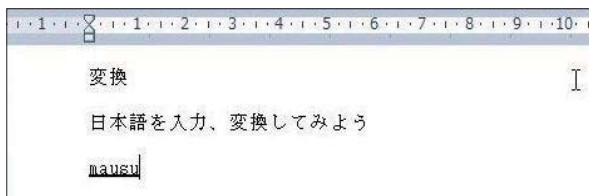
3.「F8」キーを押します。半角カタカナに変換されます。



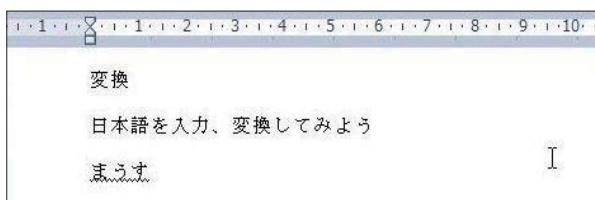
4.「F9」キーを押します。全角英字に変換されます。



5.「F10」キーを押します。半角英字に変換されます。



6.「F6」キーを押します。全角ひらがなに変換されます。



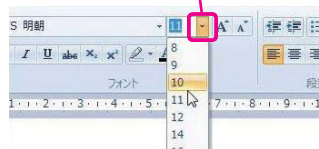
テクニック

フォントの変更を行うには、画面上部のフォント名の横にあるボタンをクリックして選択します。

フォント変更



フォントサイズ変更

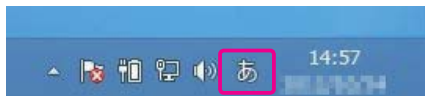


「ローマ字入力」と「かな入力」の切り替え

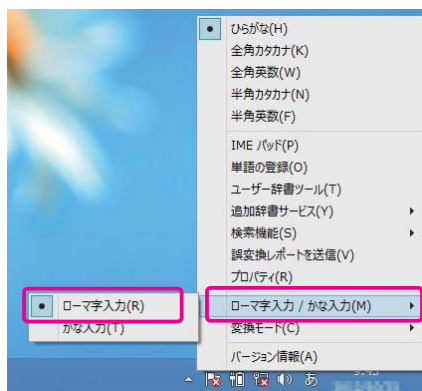
日本語の入力には、ローマ字入力とかな入力があります。ローマ字入力で「あ」と入力したのに、「ち」と表示されてしまった場合、かな入力で設定されている可能性があります。入力方式の切り替えには、いくつかの方法があります。

● 切り替え方法_1

1. 文字の上で、右クリックします。



2. 「ローマ字入力 / かな入力」で入力を切り替えます。



● 切り替え方法_2

1. 「Alt」キーを押しながら、「カタカナ・ひらがな・ローマ字」キーを押します。



注意

キー配列は、製品によって異なります。

● 言語バーを使った切り替え方法_1

1. 「KANJI」ボタンを押して切り替えます。



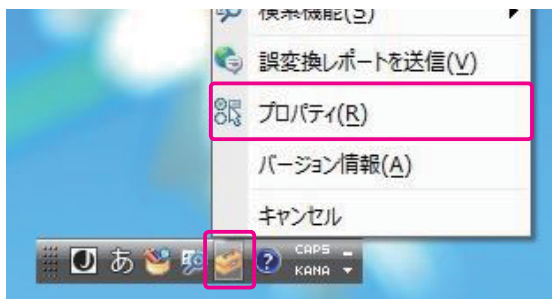
ローマ字入力の状態



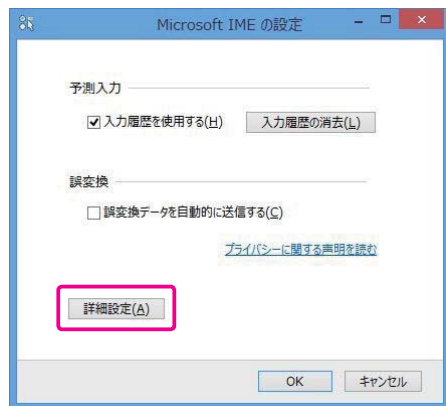
かな入力の状態

● 言語バーを使った切り替え方法_2

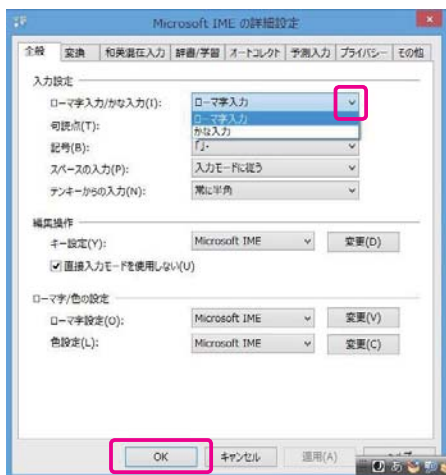
1. 「ツール」をクリックして、一覧から「プロパティ」をクリックします。



2. 「詳細設定」をクリックします。



3. 「ローマ字入力 / かな入力」で入力を切り替え、「OK」をクリックします。



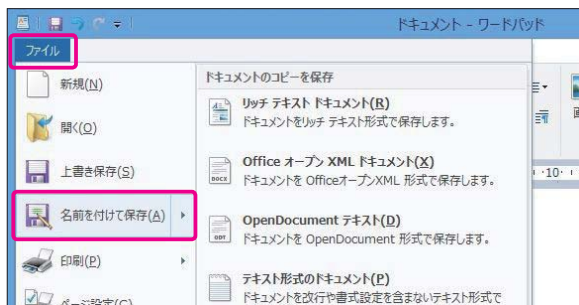
4

文書をファイルに保存

文書を作成しても、そのまま終了すると文書は消えてしまいます。文書を再度開きたい場合には、ファイルの保存作業が必要になります。

ファイルに保存

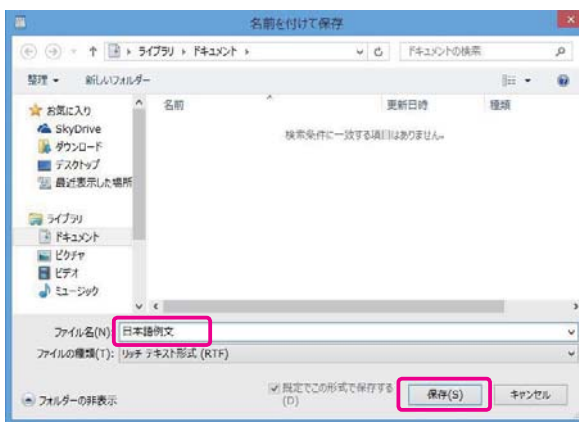
1.「ファイル」をクリックして、「名前を付けて保存」をクリックします。



ワンポイント

作成した文書は、次回以降、内容を保持したまま閲覧、編集を行うために保存が必要になります。また、突然のアプリケーションの終了などの予期せぬトラブルの際にも文書を保存していないと、一から文書を作り直すことにもなりかねません。作成した文書は、適切な名前をつけて、随時、保存作業を行うようにします。

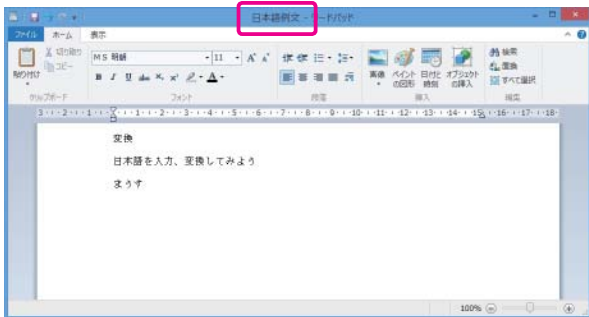
2.「ファイル名」を入力したら、「保存」をクリックします。



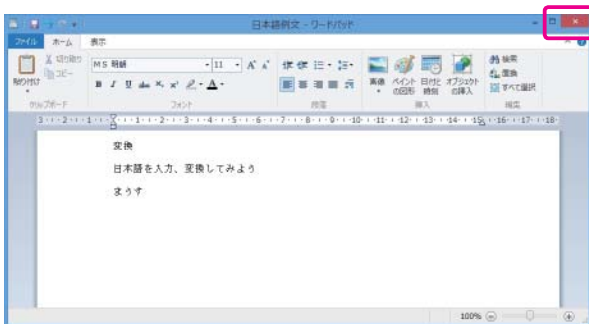
ワンポイント

ファイル名の最大長は、半角で 255 文字、全角で 127 文字までとなります。また、『』¥/*?<>等の文字は、ファイル名に使用することができません。

3. タイトルバーにファイル文章の名前が表示されます。



4. 「閉じる」ボタンをクリックして、画面を閉じます。



ワンポイント

文書を保存する前に、ワードパッドを閉じようとする、以下の写真のようなダイアログボックスが表示されます。「保存する」をクリックすることにより、文書を保存してからワードパッドを閉じることができます。



5

保存した文書を開く

保存した文書は、好きなときに開いて編集することができます。

保存した文書は、好きなときに開いて編集することができます。

ワードパッドを起動

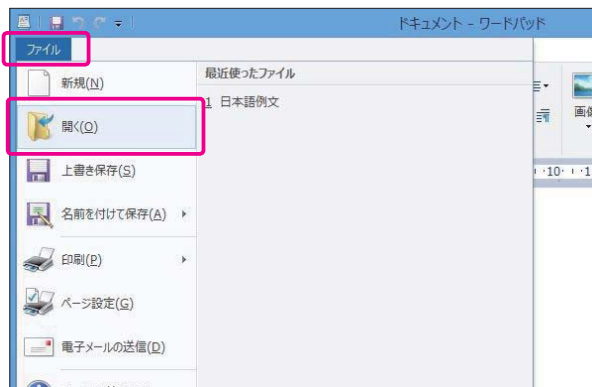
1. Windows アプリ一覧から「ワードパッド」をクリックします。



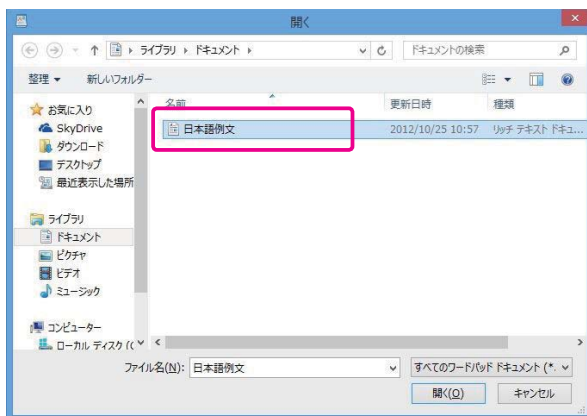
ワンポイント

Windows アプリ一覧の表示方法については、12 ページをご確認ください。

2. ワードパッドが起動したら、「ファイル」から「開く」をクリックします。



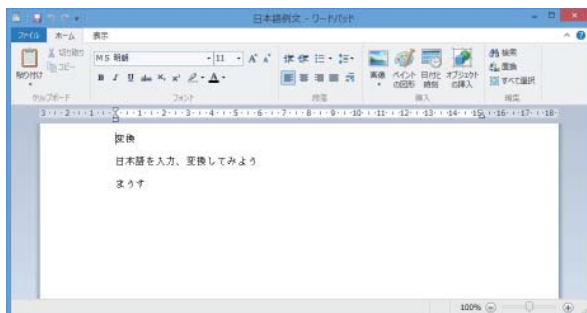
3. 開きたいファイル名をダブルクリックします。



ワンポイント

ワードパッドでは、Word で作成したファイル (doc ファイル) を開くことが可能です。また、メモ帳などで作成したテキストファイル (txt ファイル) も読み込み可能です。テキストファイルをワードパッドに読み込んだ後、フォントの変更、レイアウトの調整などを行うことも可能です。本文を先にメモ帳などで作成して、全体的なレイアウトを後からワードパッドで行うことができます。

4. 選択したファイルが開きます。



デスクトップから保存した文書を開く

1. デスクトップ画面左下の「エクスプローラー」をクリックします。



2. 保存先をクリックし、表示されたファイル名をダブルクリックします。



ファイルと フォルダーの操作

本章では、ファイルとフォルダーの参照、表示、作成、選択、削除、検索、圧縮および解凍の方法を説明します。

1 ● フォルダー内の参照	38
2 ● ファイルやフォルダーの一覧形式	40
3 ● ファイルやフォルダーの作成	42
4 ● ファイルやフォルダーの選択	44
5 ● ファイルやフォルダーの削除	46
6 ● ファイルやフォルダーの検索	48
7 ● ファイルやフォルダーの圧縮と解凍	50
8 ● CD や DVD ディスクにデータを書き込む	52

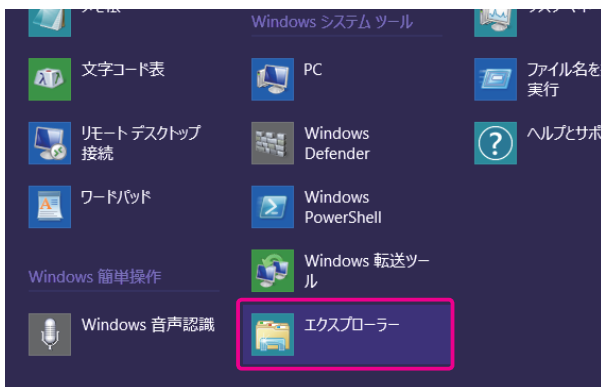
1

フォルダー内の参照

フォルダーをダブルクリックすることで、フォルダー内のファイルを参照することができます。この作業が「フォルダーを開く」になります。

フォルダー内の参照

1. Windows アプリ一覧から「エクスプローラー」をクリックします。



ワンポイント

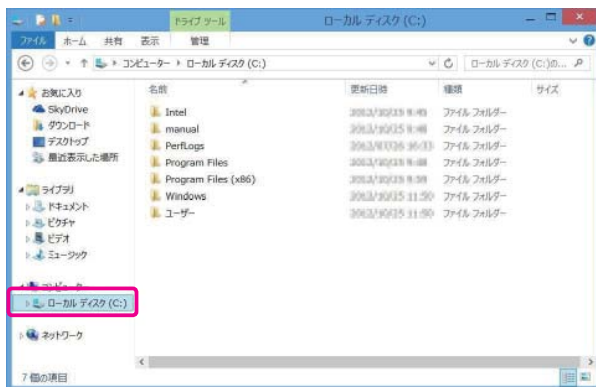
Windows アプリ一覧の表示方法については、12 ページをご確認ください。

ワンポイント

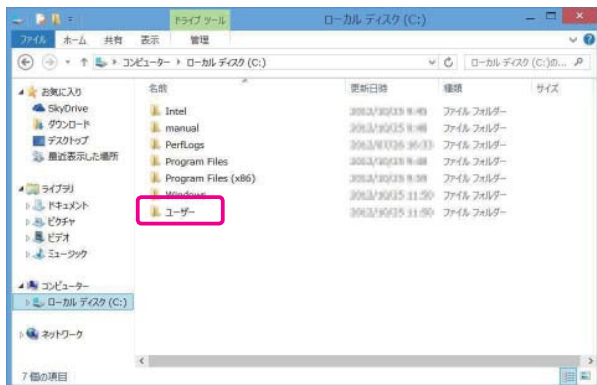
デスクトップからフォルダー内の参照を行うには、画面左下の「エクスプローラー」をクリックします。



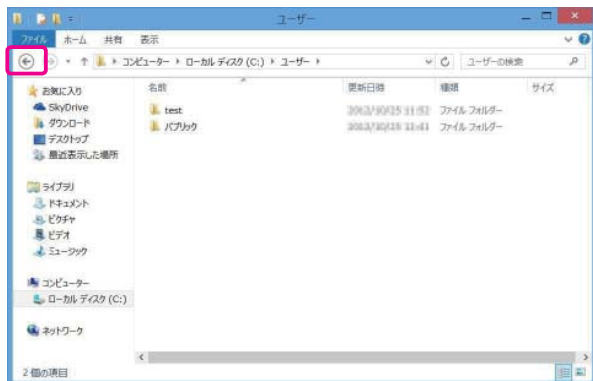
2. 「ローカルディスク (C:)」をクリックします。フォルダーが表示されます。



3. ユーザーフォルダーをダブルクリックして、フォルダーを開きます。

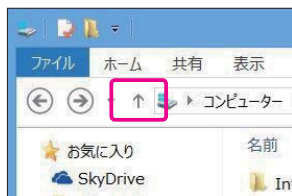


4. 「戻る」ボタンで、一つ前のフォルダーに表示を戻します。

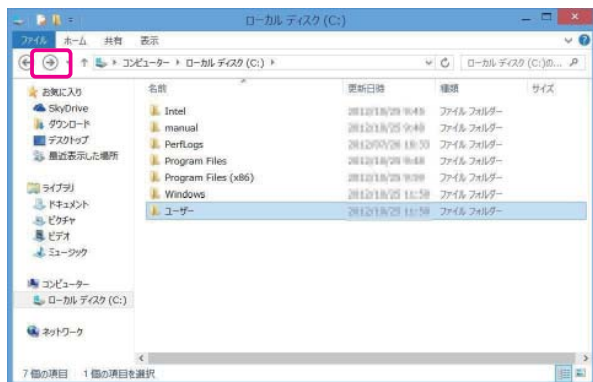


ワンポイント

一つ前の (親) フォルダーのみに戻るには、「↑」をクリックします。



5. 「進む」ボタンで、戻る前のフォルダーに進みます。



2

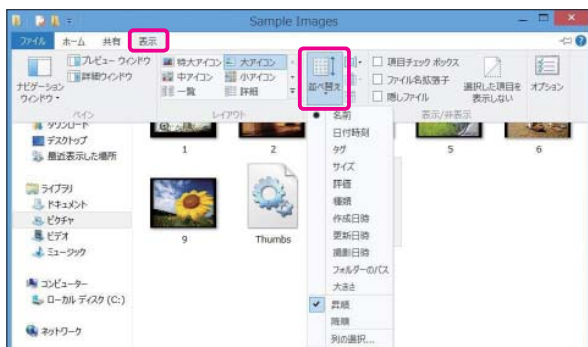
ファイルやフォルダーの一覧形式

フォルダーをダブルクリックすると、フォルダー内のファイルが一覧表示されます。表示には様々な形式があります。

ファイル・フォルダーの表示形式

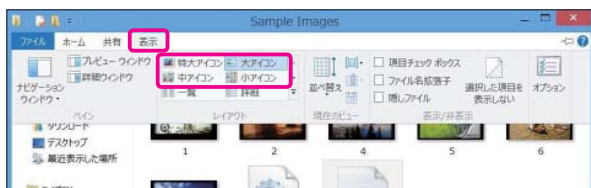
● 並び替え

「表示」メニュー → 「並び替え」の順にクリックして、一覧から形式を選択します。



● アイコン

「表示」メニューをクリックして、アイコン形式を選択します。



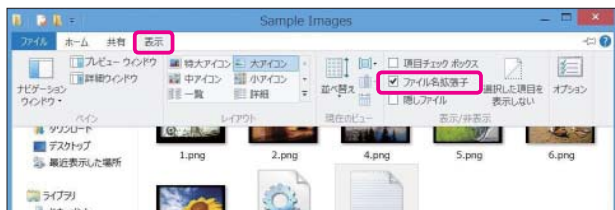
● 一覧・詳細

「表示」メニューをクリックして、一覧 or 詳細形式を選択します。



● ファイル名拡張子

拡張子とは、ファイルの末尾に付いているファイルの種類を識別するための文字列です。表示するには、「表示」をクリックして、「ファイル名拡張子」にチェックを入れます。



ワンポイント

拡張子



非表示



表示

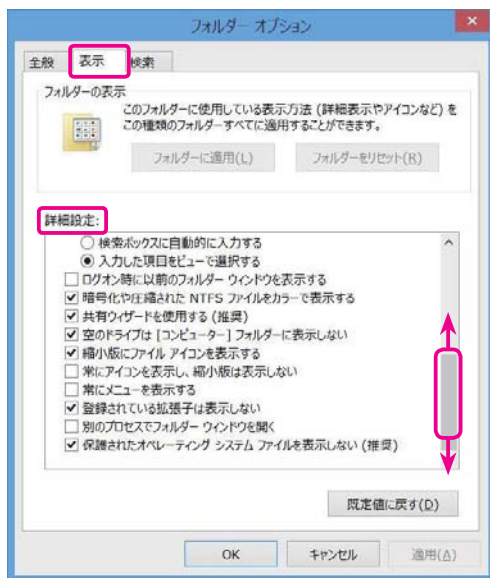
● フォルダーオプション

フォルダーオプションを使用して、拡張子の表示・非表示、暗号化や圧縮されたファイルやフォルダー色切り替え、隠しファイルの表示などの設定を変更することができます。

1. 表示メニューをクリックして、「オプション」をクリックします。



2. 「表示」タブをクリックして、詳細設定から設定を変更します。



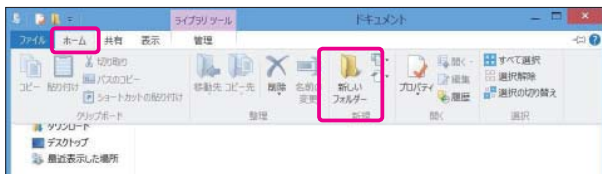
3

ファイルやフォルダーの作成

新しいファイルやフォルダーを使いたい場合は、新規作成する必要があります。ファイルやフォルダーの新規作成方法を説明します。

フォルダーの作成

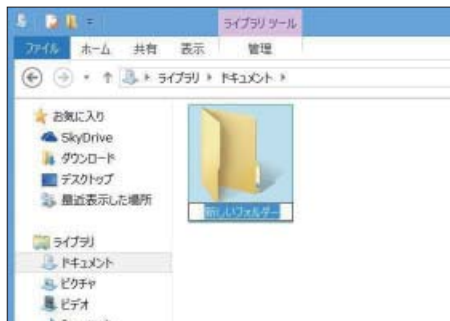
1. 「ホーム」メニューをクリックして、「新しいフォルダー」をクリックします。



ワンポイント

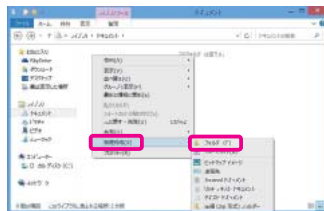
例として「ドキュメント」内に作成しています。アイコンは「大アイコン」に設定されています。

2. 「新しいフォルダー」が作成されます。

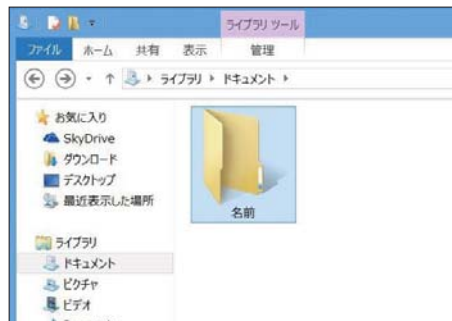


ワンポイント

フォルダーやデスクトップの何も無いところで右クリックし、「新規作成」→「フォルダー」の順で、新しいフォルダーを作成することができます。

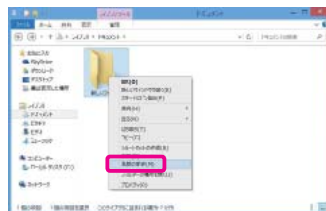


3. 青く反転している状態でフォルダー名を入力し、「Enter」キーを押します。



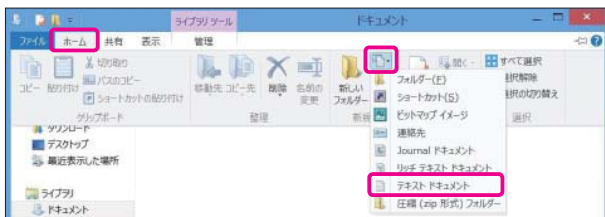
ワンポイント

青い反転が解除されてしまった場合には、フォルダーの上で右クリックし、「名前の変更」を選択します。

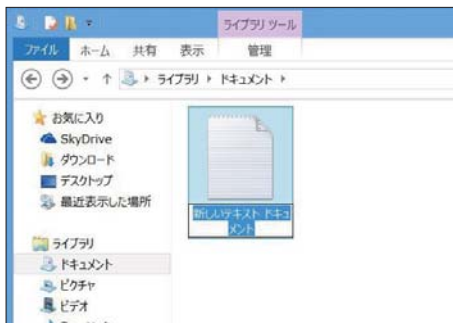


ファイルの作成

1. 「ホーム」メニューをクリックして、「新しい項目」をクリックします。一覧から「テキストドキュメント」を選択します。



2. 「新しいテキストドキュメント」が作成されます。

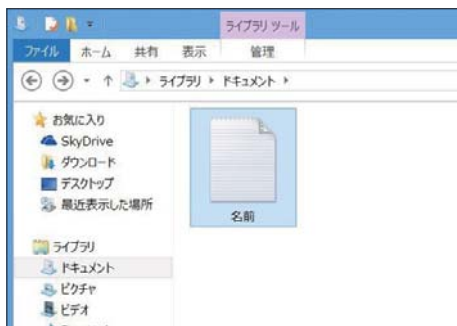


ワンポイント

フォルダーやデスクトップの何も無いところで右クリックし、「新規作成」→「テキストドキュメント」の順で、新しいファイルを作成することができます。

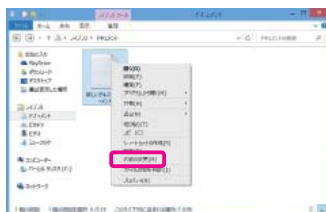


3. 青く反転している状態でファイル名を入力し、「Enter」キーを押します。



ワンポイント

青い反転が解除されてしまった場合には、フォルダーの上で右クリックし、「名前の変更」を選択します。



注意

1つのドライブ、およびフォルダー内に、同じ名前のファイル、フォルダーを2つ作成することはできません。同じ名前のファイルを作成しようとすると、エラーメッセージが表示されます。同じ内容のファイルを同じフォルダーに保存する場合は、末尾に文字を加えるなどして、ファイル名を別のものにする必要があります。

4

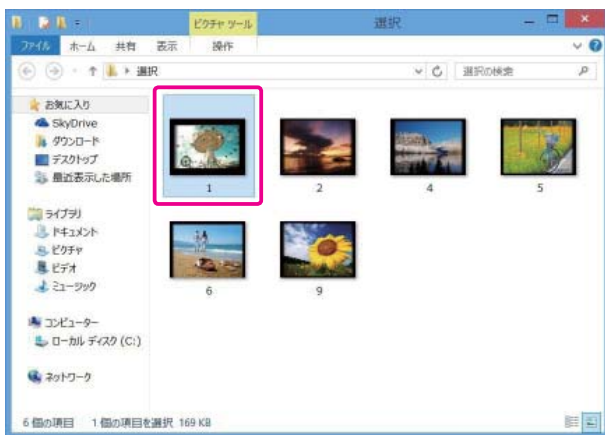
ファイルやフォルダーの
選択

ファイルやフォルダーを操作するためには、ファイルやフォルダーを選択してからになります。ファイルやフォルダーの選択方法を説明します。

ファイルの選択

● 選択

1. 選択したいファイルをクリックします。選択されたファイルは、青く反転します。

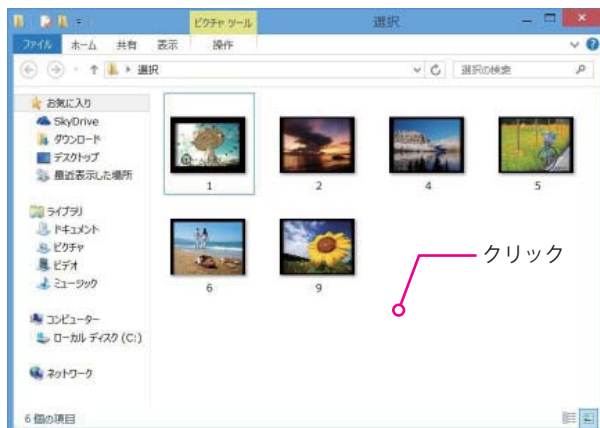


ワンポイント

デスクトップ上に「選択」フォルダーを作成しています。操作は、その中で行っています。

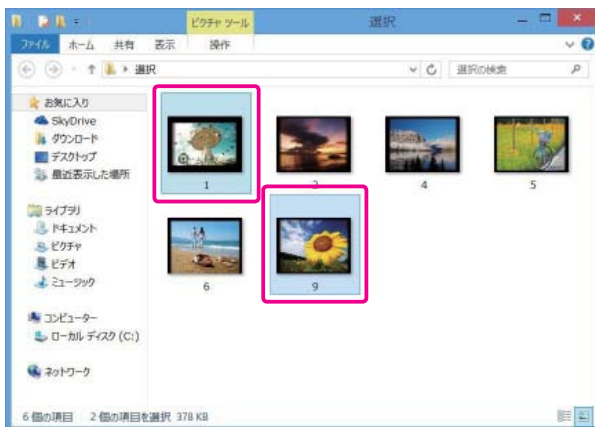
● 選択解除

1. 何も無いところでクリックして、選択を解除します。



● 離れた場所にあるファイルの選択

1. 最初のファイルを選択します。「Ctrl」キーを押しながら別のファイルを選択します。

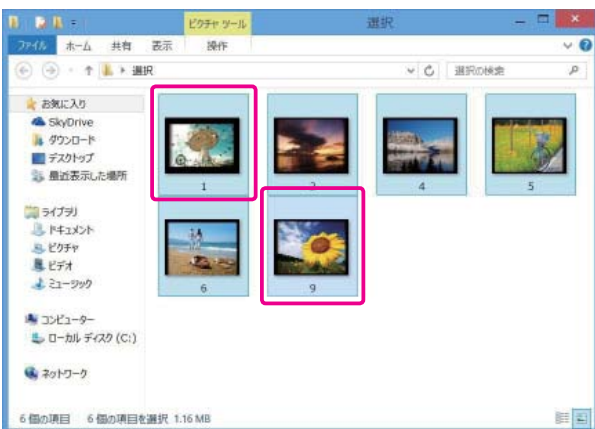


ワンポイント

離れた場所のファイルが、青く反転していることを確認します。

● 連続している複数ファイルの選択

1. 最初のファイルを選択します。「Shift」キーを押しながら最後のファイルを選択します。

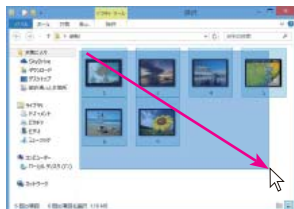


ワンポイント

すべてのファイルが、青く反転していることを確認します。

テクニック

選択したいファイルを、ドラッグ操作で選択することができます。



5

ファイルやフォルダーの
削除

不要になったファイルやフォルダーは削除して整理します。ファイルの削除は、不要なファイルをごみ箱へドラッグします。

ファイルの削除

1. 削除したいファイルを「ごみ箱」にドラッグします。



テクニック

ファイルの上で右クリックし、表示されるメニューから「削除」をクリックしてもファイルを削除することができます。



2. 「ごみ箱」の上でマウスボタンを離し、ドロップします。



3. ファイルが消えて、「ごみ箱」の形が変わります。



ファイルを完全に削除

1. 「ゴミ箱」をダブルクリックします。「ゴミ箱」の中が表示されます。



2. 「管理」メニューから、「ゴミ箱を空にする」をクリックします。



3. 削除確認メッセージが表示されたら、「はい」をクリックします。

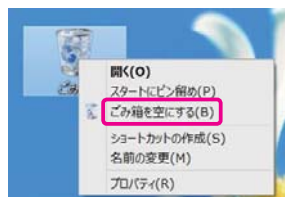


テクニック

通常、削除したファイルは一度ごみ箱に移動します。[ごみ箱]アイコンを右クリック⇒[プロパティ]⇒[ごみ箱にファイルを移動しないで、削除と同時にファイルを消す]にチェックを入れると、ごみ箱にファイルを移動することなく、パソコン上から直接ファイルを削除することができますようになります。ただし、この方式でファイルを削除すると、ファイルを間違って削除した場合に復元ができなくなります。

テクニック

[ごみ箱]を右クリックして表示されるメニューから、[ごみ箱を空にする]をクリックしてもごみ箱を空にできます。



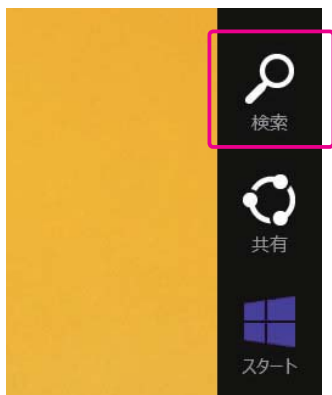
6

ファイルやフォルダーの
検索

ファイルが見つからない場合などは、検索機能で目的のファイルを見つけることができます。

ファイル名からファイルの検索

1. 「チャーム」を表示して、「検索」をクリックします。



ワンポイント

「Windows」キーを押しながら、「C」キーを押すことで、チャームを表示させることができます。

ワンポイント

「Windows」キーを押しながら、「X」キーを押します。画面左下に表示されたメニューから「検索」をクリックしても同じ操作が可能です。



2. 検索したいファイル名を入力し、「Enter」キーを押すと、検索結果が表示されます。



MEMO

CHAPTER

1

2

3

4

5

6

7

7

ファイルやフォルダーの
圧縮と解凍

ファイルやフォルダーは「圧縮」と呼ばれる作業を行うことで、容量を減らすことができます。ここでは、フォルダーの圧縮と解凍について説明します。

フォルダーの圧縮

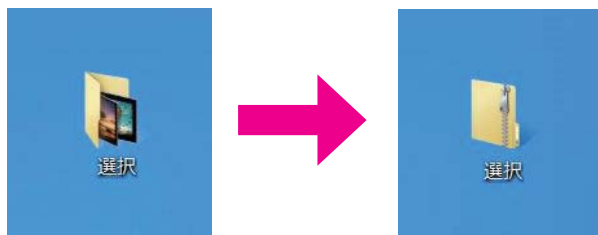
1. 圧縮したいフォルダーを右クリックします。メニューの中から「送る」→「圧縮 (ZIP 形式) フォルダー」の順にクリックします。



ワンポイント

圧縮ファイルは、圧縮されていないファイルに比べて、使用する記憶域が少なくなります。他のコンピューターへの転送時間もより短くすることができます。圧縮ファイルと圧縮フォルダーは、圧縮されていないファイルやフォルダーと同じように扱うことができます。また、複数のファイルを1つの圧縮フォルダーとしてまとめることもできます。こうすることにより、電子メールメッセージの添付が複数のファイルでなく1つのフォルダーだけで済むため、複数ファイルの共有がより容易になります。

2. 圧縮したフォルダーが作成されます。



圧縮したフォルダーの解凍

1. 解凍したいフォルダーを右クリックします。メニューの中から「すべて展開」をクリックします。



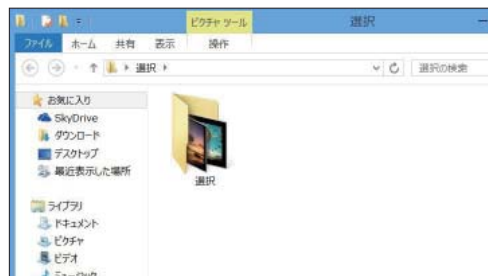
ワンポイント

ファイルを圧縮する形式には、ZIP の他に、LZH、RAR といった形式があります。Windows 8.1 で圧縮・解凍を行えるのは、ZIP 形式のみとなります。他の圧縮形式を使用するには、別途アプリケーションを使用する必要があります。

2. 解凍したファイルを展開する場所を選択したら、「展開」をクリックします。



3. フォルダーの解凍が完了します。



8

CD や DVD ディスクに
データを書き込む

Windows 8.1 では、「ライブファイルシステム」と「マスター」の2つの形式で CD や DVD に書き込むことができます。

●ライブファイルシステム

USB メモリなどと同じように、ファイルの追加・編集・削除が行えます。このディスクは Windows XP 以降のコンピュータで使用できます。

●マスター

データを書き込んだディスクをほとんどのパソコンで読み取ることができます。CD ドライブや DVD ドライブなどの他の機器でも読取可能です。なお、データを書込み後に個々のファイルを修正したり削除したりすることができません。

データを書き込む（ライブファイルシステム）

1. 書き込み用の CD や DVD を光学ドライブに挿入します。画面右上に表示されたメッセージをクリックします。

BD-ROM ドライブ (D:)

タップして、空の DVD に対して行う操作を選んでください。

2. 「ファイルをディスクに書き込む」をクリックします。

BD-ROM ドライブ (D:)

空の DVD に対して行う操作を選んでください。



ディスクコピー/ムービーの再生
Media Suite 10



データを DVD に書き込む
Power2Go



ファイルをディスクに書き込む
エクスプローラー



何もしない

3. 「このディスクをどの方法で使しますか?」が表示されます。「USB フラッシュドライブと同じように使用する」を選択し、「次へ」をクリックします。



4. ドライブウィンドウが表示されます。

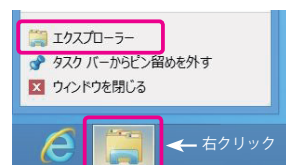


5. 新しいウィンドウでエクスプローラーを起動し、メディアに書き込むファイルの保存場所を開きます。

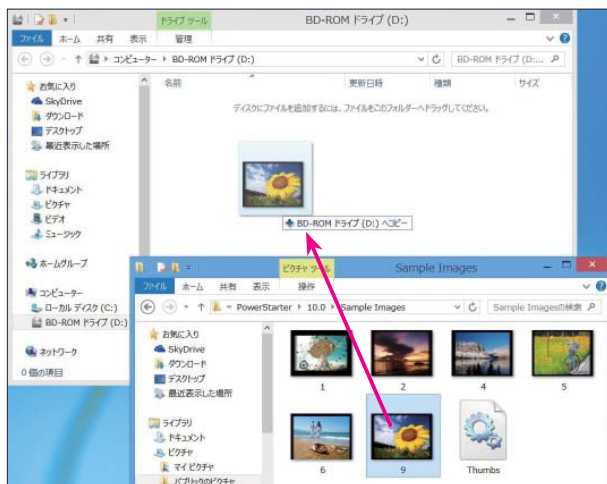


ワンポイント

新しいウィンドウを開くには、エクスプローラーの上で右クリックし、「エクスプローラー」をクリックします。



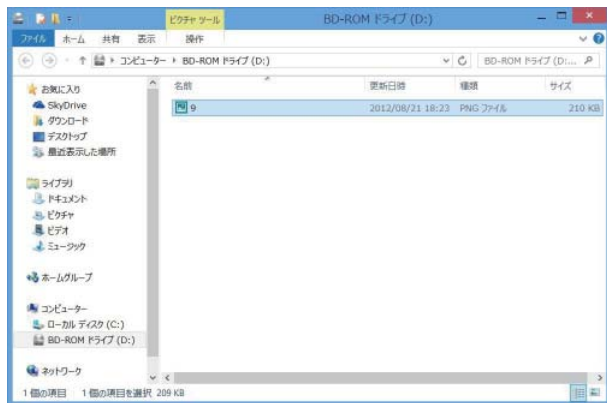
6. 書き込むファイルを選択し、ドライブウィンドウへドラッグします。



7. 100%完了になるまでお待ちください。



8. 書き込みが完了します。



データを書き込む（マスター）

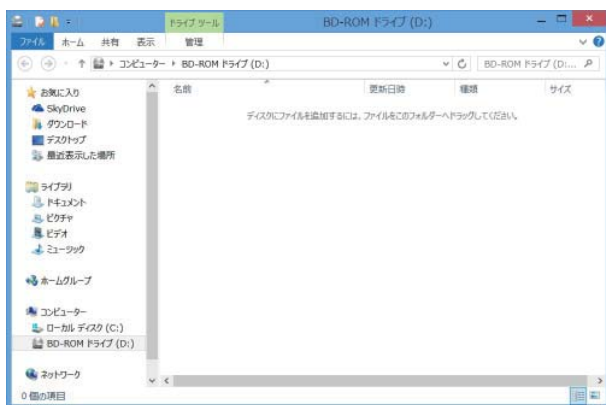
手順 1～2 までは、「ライブファイルシステム」の場合と同じになります。52 ページをご確認いただき、引き続き、次の手順 3 の作業を行ってください。



3. 「このディスクをどの方法で使いますか？」が表示されます。「CD/DVD プレイヤーで使用する」を選択し、「次へ」をクリックします。



4. ドライブウィンドウが表示されます。

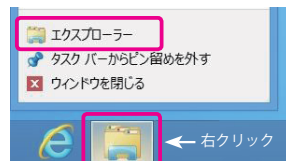


5. 新しいウィンドウでエクスプローラーを起動し、メディアに書き込むファイルの保存場所を開きます。

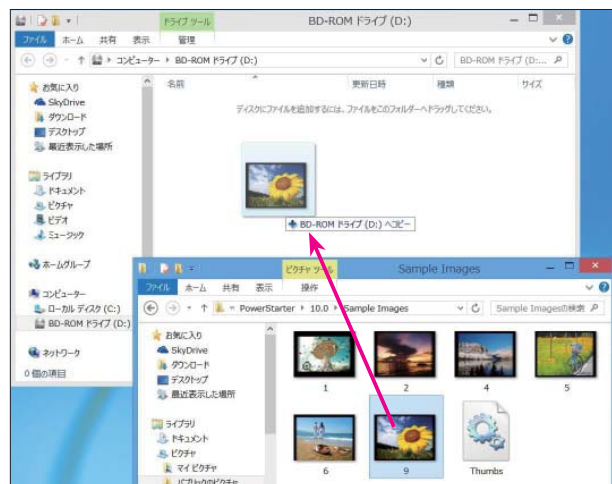


ワンポイント

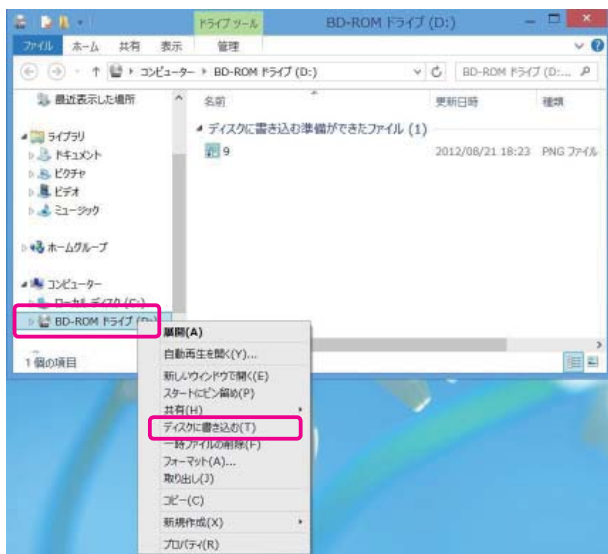
新しいウィンドウを開くには、エクスプローラーの上で右クリックし、「エクスプローラー」をクリックします。



6. 書き込むファイルを選択し、ドライブウィンドウへドラッグします。



7. ディスクに書き込む準備ができたら、光学ドライブの上で右クリックし、「ディスクに書き込む」をクリックします。



8. 「ディスクのタイトル」を入力し、「書き込み速度」を選択したら、「次へ」をクリックします。



9. 書き込みが開始されます。そのまましばらくお待ちください。



10. 書き込みが完了したら、「完了」をクリックします。



インターネットとメール

Internet Explorer 11 を使用した Web 閲覧と、Windows Live メールを使用した電子メールについて説明します。

- 1 ● Web ページを閲覧する60
- 2 ● 特定の Web ページをスタート画面にピン留めする62
- 3 ● お気に入りに追加する66
- 4 ● Windows Live メールインストール70
- 5 ● Windows Live メールにメールアカウントを設定する72
- 6 ● メール本文の作成74

1

Web ページを閲覧する

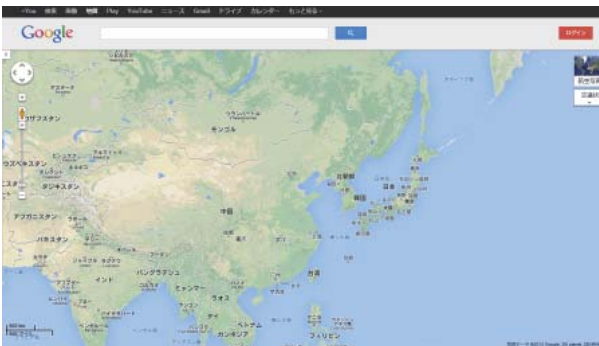
Windows 8.1 では、従来のデスクトップで利用できるデスクトップ版と、Windows ストアアプリの Internet Explorer11 で Web ページを閲覧することができます。

Windows ストアアプリで閲覧する

1. スタート画面の「Internet Explorer 11」のタイルをクリックします。



2. Internet Explorer 11 が表示され、Web ページを閲覧することができます。



ワンポイント

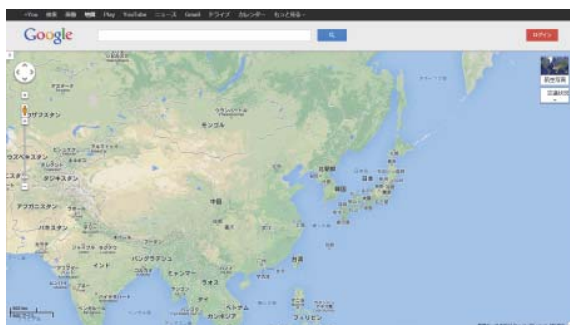
Google MAP を表示させて操作を説明します。

デスクトップで閲覧する

1. 画面左下、タスクバー上の「Internet Explorer 11」のアイコンをクリックします。



2. Internet Explorer 11 が表示され、Web ページを閲覧することができます。

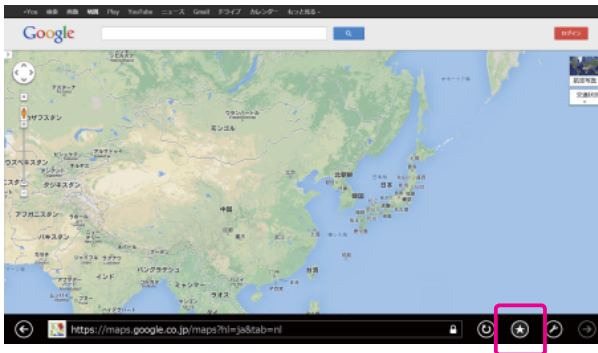


2

特定の Web ページを スタート画面にピン留めする

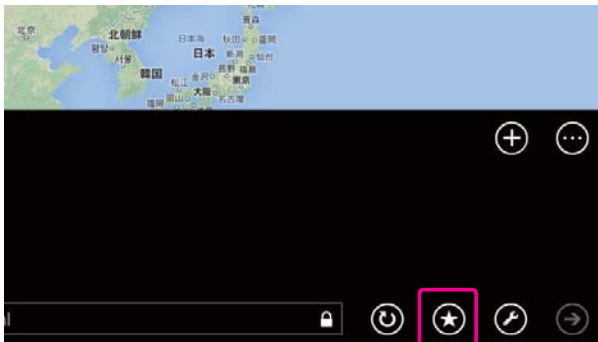
Windows ストアアプリの IE11 をスタート画面にピン留めする

1. Internet Explorer 11 (IE11) で、ピン留めしたい Web ページを開くと、画面右下にアプリバーが表示されますので、星のアイコンをクリックします。

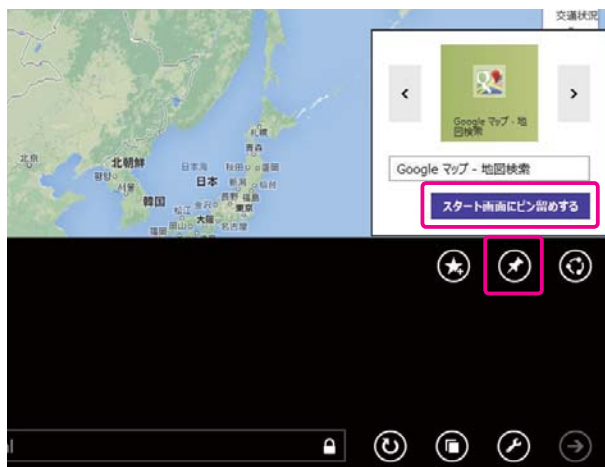


ワンポイント

アプリバーの表示が消えてしまった場合には、Web ページ上で右クリックすることで、画面右下にアプリバーを表示させることができます。



2. ピンのアイコンをクリックし、「スタート画面にピン留めする」をクリックします。



3. スタート画面に、ピン留めした Web ページのタイルが表示されます。



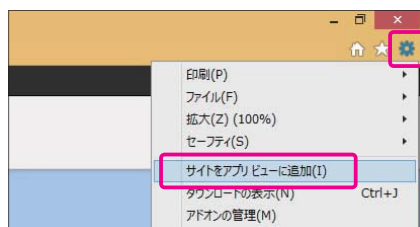
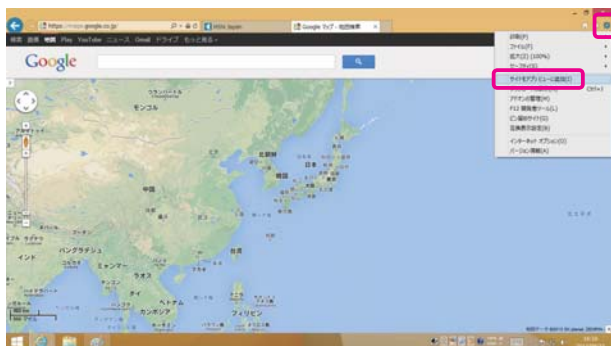
ワンポイント

スタート画面にピン留めした Web ページを外すには、タイルの上で右クリックします。画面下に表示されたアプリバーの「スタート画面からピン留めを外す」をクリックします。

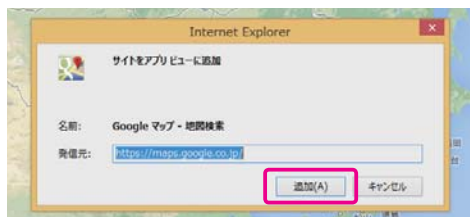


デスクトップ版の IE11 をアプリ画面にピン留めする

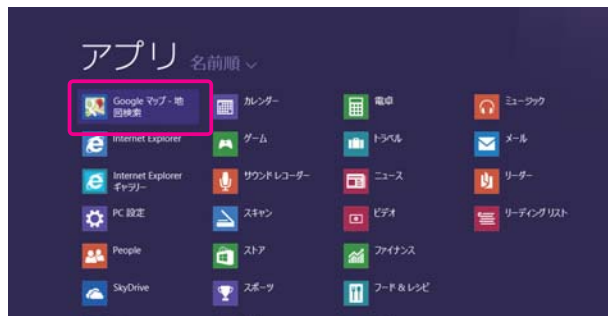
1. Internet Explorer 11 (IE11) で、ピン留めしたい Web ページを開きます。画面右上にある、歯車のアイコンをクリックし、一覧から「サイトをアプリビューに追加」をクリックします。



2. メッセージが表示されたら、「追加」をクリックします。



3. アプリ画面に、ピン留めした Web ページのタイルが表示されます。



ワンポイント

アプリ画面にピン留めした Web ページをスタート画面にピン留めする場合には、タイルの上で右クリックします。画面下に表示されたアプリバーの「スタート画面にピン留めする」をクリックします。



MEMO

CHAPTER

1

2

3

4

5

6

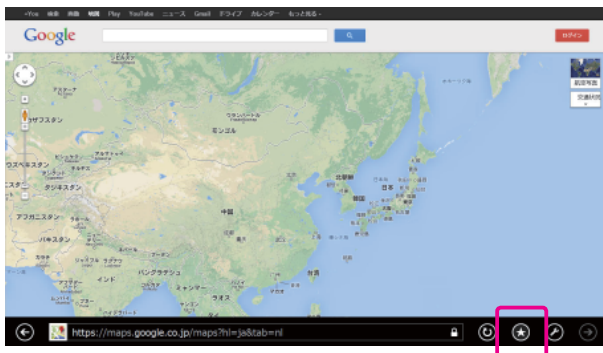
7

3

お気に入り追加する

Windows ストアアプリの IE11 でお気に入り追加する

1. Internet Explorer 11 (IE11) で、ピン留めしたい Web ページを開くと、画面右下にアプリバーが表示されますので、星のアイコンをクリックします。

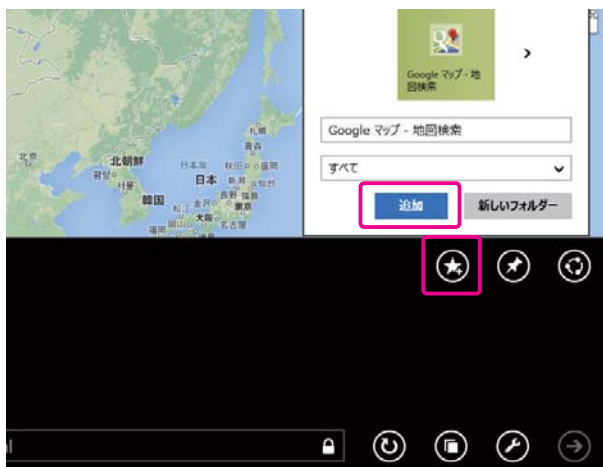


ワンポイント

アプリバーの表示が消えてしまった場合には、Web ページ上で右クリックすることで、画面右下にアプリバーを表示させることができます。



2. 星のアイコンをクリックし、「追加」をクリックします。

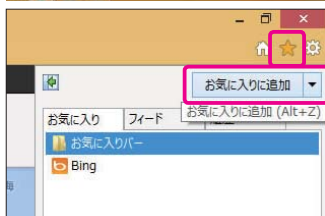
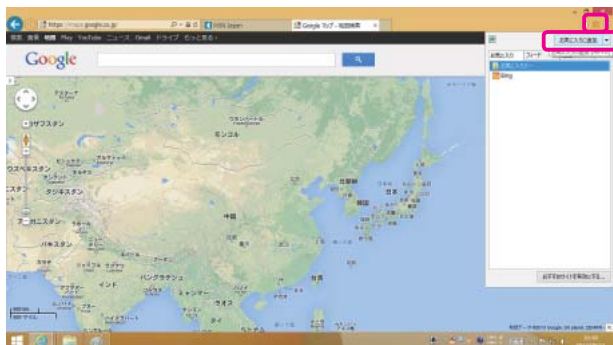


3. 「お気に入り」に Web ページが追加されていることが確認できます。

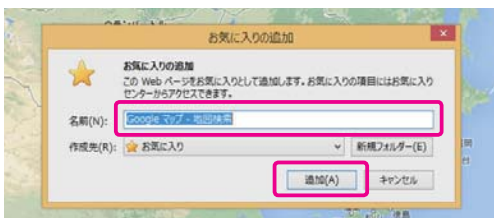


デスクトップ版の IE11 でお気に入り追加する

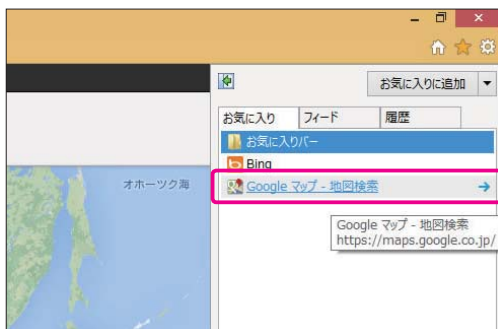
1. Internet Explorer 11 (IE11) で、お気に入りに追加したい Web ページを開きます。画面右上にある、星のアイコンをクリックし、「お気に入りに追加」をクリックします。



2. お気に入りの追加が表示されたら、「追加」をクリックします。
※任意の名前を入力することができます。

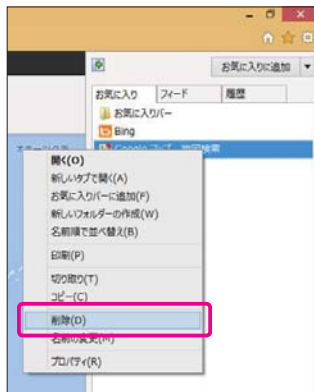


3. 「お気に入り」に Web ページが追加されていることを確認します。



ワンポイント

お気に入りに削除するには、アイコンの上で右クリックし、「削除」をクリックします。



MEMO

CHAPTER

1

2

3

4

5

6

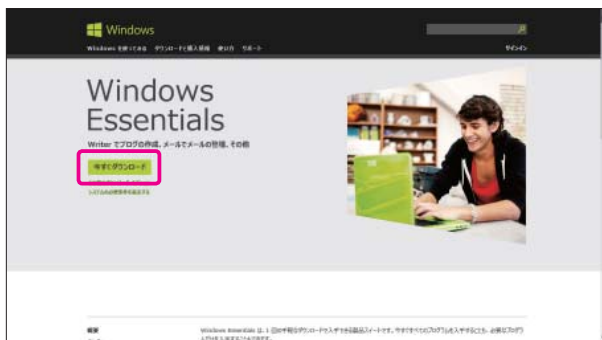
7

4

Windows Live メールのインストール

Windows Live メールのダウンロード

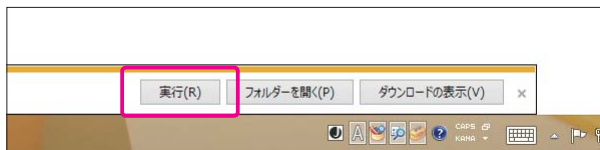
1. 「<http://windows.microsoft.com/ja-JP/windows-live/essentials-other>」にアクセスします。
2. 「今すぐダウンロード」をクリックします。



3. 画面下部から「保存」をクリックします。



4. ダウンロードが完了したら、「実行」をクリックします。

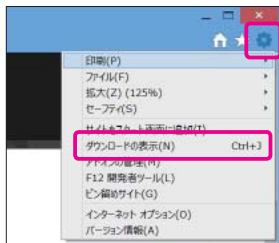


5. 「インストールする製品の選択」をクリックします。

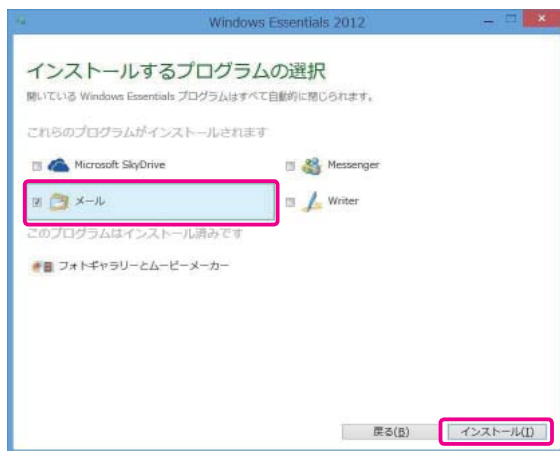


ワンポイント

デスクトップ上でダウンロードした場合、画面右上の歯車のアイコンをクリックし、一覧から「ダウンロードの表示」でインストールを実行することができません。



6. 「メール」にチェックを入れ、「インストール」をクリックします。



7. インストールが完了したら、「閉じる」をクリックします。

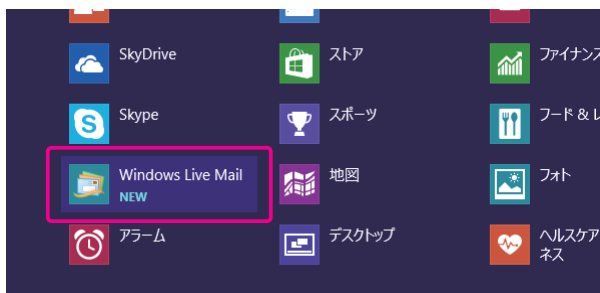


5

Windows Live メールに
メールアカウントを設定する

Windows Live メールに Microsoft アカウントのメールを設定する

1. Windows Live メール のインストールが完了した後、スタート画面左下の (ダウンロード) アイコンをクリックします。
2. アプリ一覧から「Windows Live Mail」をクリックします。



3. 「マイクロソフト サービス アグリーメント」が表示されたら、「承諾」をクリックします。



4. 登録する Microsoft アカウントの「電子メールアドレス」と「パスワード」を入力し、「次へ」をクリックします。

ワンポイント

Windows Live メールが表示されたら、「アカウント」タブをクリックし、「電子メール」をクリックします。



5. 確認画面が表示されたら、「はい」をクリックします。

6. 「完了」をクリックします。

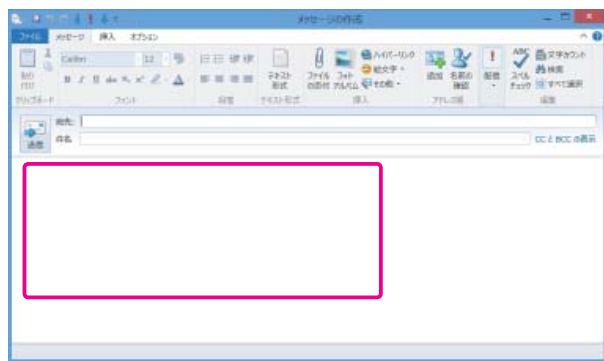
メール本文の作成

作成したメールを送信する

1. 「電子メールメッセージ」をクリックします。



2. メール本文を記載します。

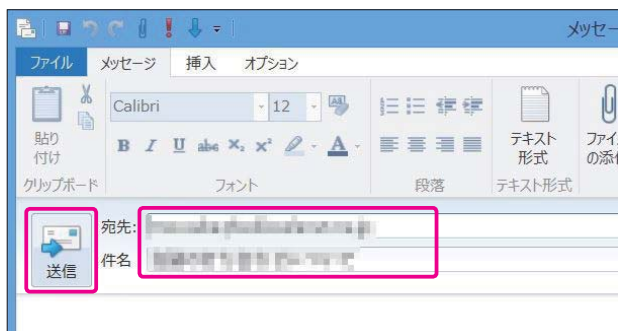


ワンポイント

メール送信の形式には、テキスト形式と、リッチテキスト (HTML) 形式の2種類があります。リッチテキスト (HTML) 形式でのメールは、表現豊かなメールを作成することができますが、受信側のメールソフトが対応していないと、正しく内容を表示できない可能性があります。文章のみのメールを主に使用する場合は、テキスト形式に変更します。変更方法は、「メッセージ」メニューの「テキスト形式」をクリックします。なお、初期設定では、リッチテキスト (HTML) 形式になっています。



3. 「宛先」、「件名」を入力したら、「送信」をクリックします。



This image shows a full page of primary-ruled paper. It features multiple sets of horizontal dashed lines spaced evenly down the page, providing a guide for handwriting practice. The lines are light gray and extend across the entire width of the page. There are no margins, text, or other markings present.

Windows の 各種設定

Windows の各種設定について説明します。

- | | |
|--|-----|
| 1 ● スタート画面の解像度を変更する | 78 |
| 2 ● デスクトップの背景を設定する | 80 |
| 3 ● スクリーンセーバーを設定する | 82 |
| 4 ● 日付と時刻を設定する | 84 |
| 5 ● デスクトップにショートカットを作成する | 86 |
| 6 ● ユーザーアカウントを追加する | 88 |
| 7 ● ピクチャパスワードを設定する | 92 |
| 8 ● ローカルアカウントを Microsoft アカウントに切り替える . | 98 |
| 9 ● Microsoft アカウントをローカルアカウントに切り替える . | 106 |

1

スタート画面の解像度を変更する

画面の解像度を上げることで、より多くの項目を画面に表示することができます。

画面解像度の変更

1. コントロールパネルを起動したら、「画面の解像度の調整」をクリックします。



ワンポイント

コントロールパネルの起動方法については、16 ページをご確認ください。

テクニック

デスクトップの何も無いところで右クリックします。メニューから「画面の解像度」をクリックすることで、「画面の解像度」画面を開くことができます。

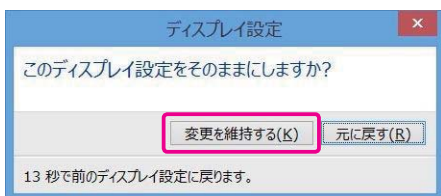
2. 「解像度」のプルダウンから、解像度を選択します。



3.「OK」をクリックします。



4. 確認のメッセージが表示されます。「変更を維持する」をクリックします。



2

デスクトップの背景を設定する

デスクトップの背景は、自分の好みに設定することができます。自分で撮った写真を背景に設定することもできます。

デスクトップ背景の設定

1. コントロールパネルを起動したら、「デスクトップの背景の変更」をクリックします。



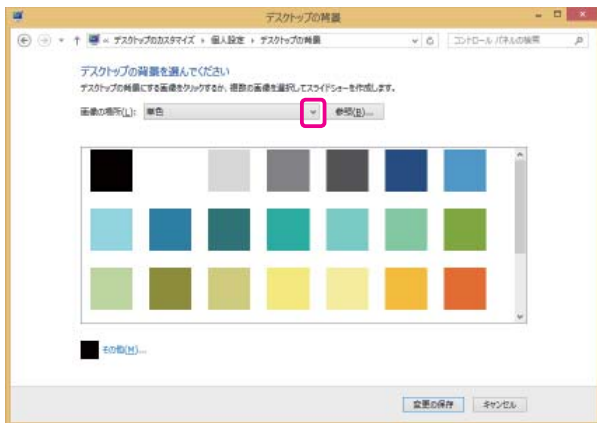
ワンポイント

コントロールパネルの起動方法については、16 ページをご確認ください。

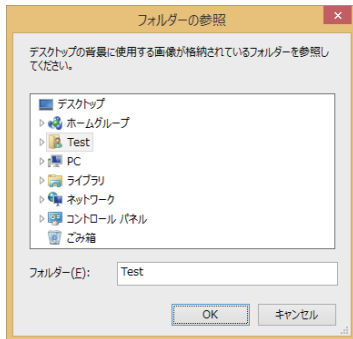
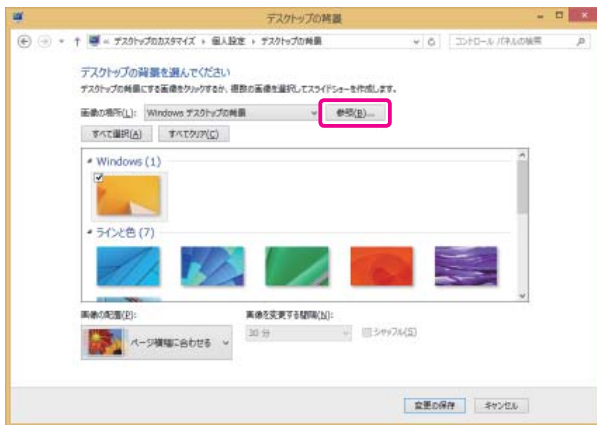
2. 背景に設定したい画像を選択したら、「変更の保存」をクリックします。



3. 選択する画像フォルダーを変更するには、「画像の場所」のプルダウンから、フォルダーを選択します。



4. 好きな画像を背景に設定するには、「参照」をクリックし、画像が保存されてるフォルダーから選択します。



1

2

3

4

5

6

7

3

スクリーンセーバーを設定する

スクリーンセーバーとは、コンピューターを使用していない間、画面を黒くしたり、簡単なアニメーションを表示するソフトウェアです。

スクリーンセーバーの変更

1. コントロールパネルを起動したら、「デスクトップのカスタマイズ」をクリックします。



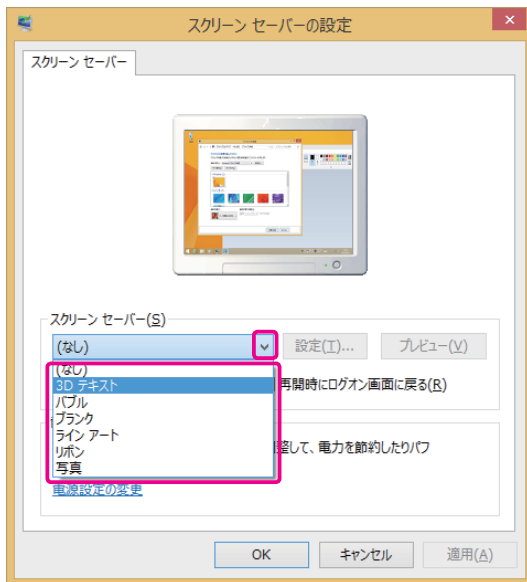
ワンポイント

コントロールパネルの起動方法については、16ページをご確認ください。

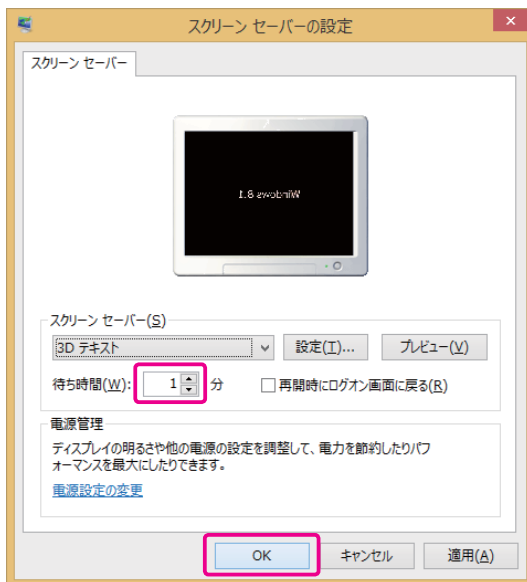
2. 「スクリーンセーバーの変更」をクリックします。



3. スクリーンセーバーのプルダウンから、好みのスクリーンセーバーを選択します。



4. スクリーンセーバーに移行する待ち時間を設定したら、「OK」をクリックします。



ワンポイント

スクリーンセーバーを起動する代わりに、モニタの電源を切る設定をすることもできます。「電源設定の変更」から電源プランを選択します。



4

日付と時刻を設定する

パソコンの内蔵時計は、アプリケーションの動作を制御する上で重要なものです。正しい日付と時刻を設定します。

日付と時刻の設定

1. コントロールパネルを起動したら、「時計、言語、および地域」をクリックします。



ワンポイント

コントロールパネルの起動方法については、16 ページをご確認ください。

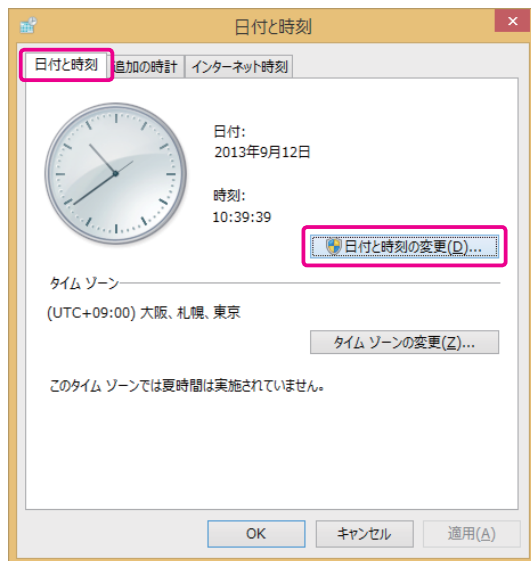
テクニック

デスクトップ画面右下の通知領域に表示されている時計をダブルクリックしても、「日付と時刻の設定」画面が表示され、日付と時刻を設定することができます。

2. 「日付と時刻の設定」をクリックします。

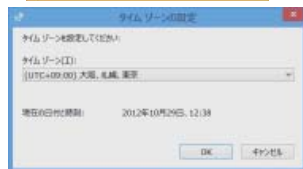


3. 「日付と時刻の変更」をクリックします。



ワンポイント

日本でパソコンを使用する場合は、「東京、大阪、札幌」に設定し、海外で使用する場合は、タイムゾーンを現在の経度に設定します。

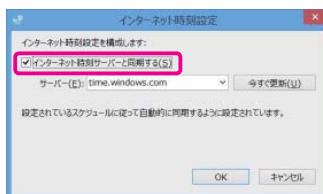
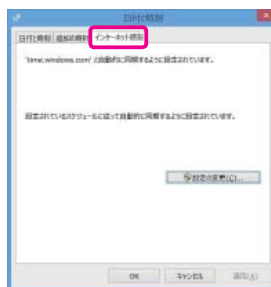


4. 「日付」と「時間」を設定したら、「OK」をクリックします。



テクニック

[インターネット時刻]⇒[インターネット時刻サーバーと同期する]にチェックを入れれば、正しい時刻をインターネット経由で常に調整可能です。



5

デスクトップにショートカットを作成する

デスクトップ上に「コンピューター」や「コントロールパネル」のショートカットを作成し、起動させることができます。

デスクトップにアイコンを追加

1. コントロールパネルを起動したら、「デスクトップのカスタマイズ」をクリックします。



2. 「個人設定」をクリックします。



ワンポイント

コントロールパネルの起動方法については、16 ページをご確認ください。

テクニック

アプリケーションのショートカットを作るには、アプリケーションがインストールされているフォルダを開き、アプリケーション本体のファイルをデスクトップにドラッグします。メニューが表示されるので、その中から[ショートカットをここに作成]をクリックすると、ショートカットが作成されます。また、アプリケーション本体のファイルの上で右クリックし、メニューの中から[送る]⇒[デスクトップ(ショートカットの作成)]をクリックしても、ショートカットを作成することができます。

ワンポイント

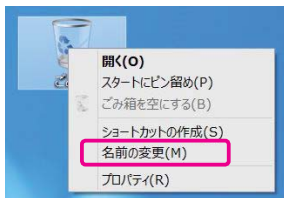
ショートカットアイコンの左下には、上向きの矢印が表示されるので、通常のアイコンとここで区別します。

3. 「デスクトップアイコンの変更」をクリックします。

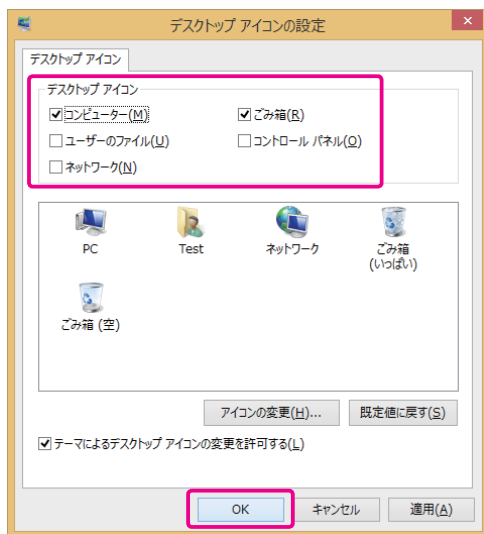


テクニック

ショートカットアイコンの上で、右クリックし、[名前の変更]をクリックすることで、ショートカットアイコンの名前を変更することが出来ます。



4. 追加するアイコンを選択したら、「OK」をクリックします。



テクニック

アプリケーションだけではなく、ファイルやフォルダーも同様の手順でショートカットを作成することができます。ファイルがアプリケーションに関連付けられている場合は、ショートカットをダブルクリックするだけでアプリケーションが起動し、ファイルが開きます。

1

2

3

4

5

6

7

6

ユーザーアカウントを追加する

複数人でパソコンを使用する場合、ユーザーアカウントを追加する必要があります。パスワードの設定もここから行います。

ユーザーアカウントの追加

1. 「チャーム」を表示して、「設定」をクリックします。



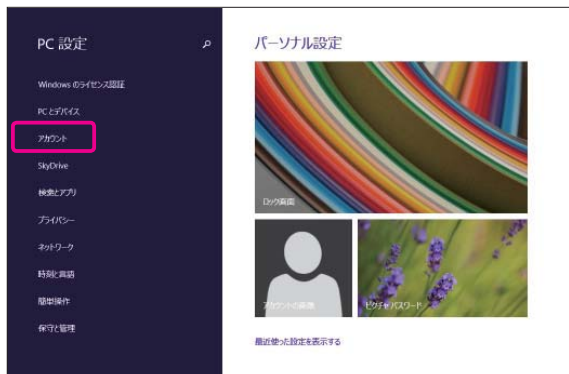
ワンポイント

「Windows」キーを押しながら、「C」キーを押すことで、チャームを表示させることができます。

2. 画面右下「PC 設定の変更」をクリックします。



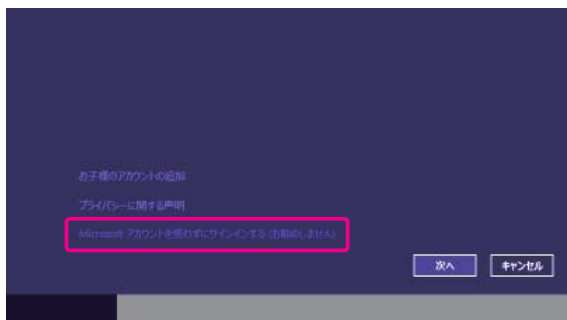
3. 「アカウント」をクリックします。



4. 「その他のアカウント」をクリックし、「アカウントを追加する」をクリックします。



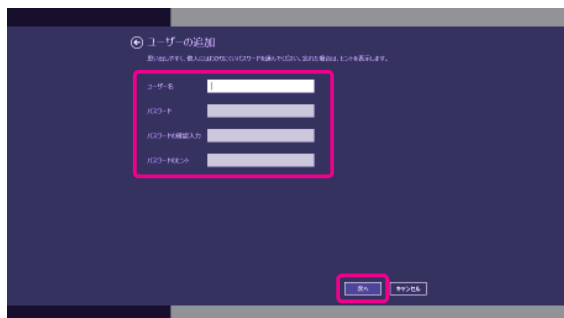
5. 「Microsoft アカウントを使わずにサインインする」をクリックします。



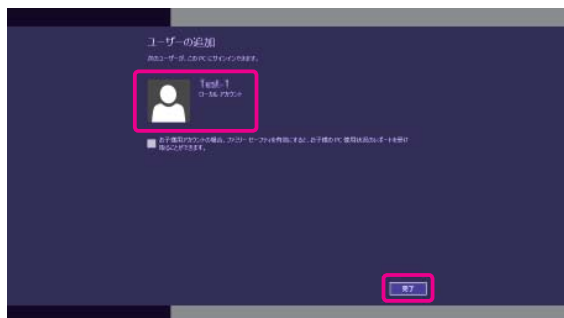
6. 「ローカルアカウント」をクリックします。



7. 「ユーザー名」・「パスワード」等を入力し、「次へ」をクリックします。



8. 新しいユーザーが追加されたら、「完了」をクリックします。



MEMO

CHAPTER

1

2

3

4

5

6

7

7

ピクチャパスワードを設定する

ピクチャパスワードとは、パソコンを保護するための新しいサインイン方法です。画像を選び、その画像の上でジェスチャを入力することで、自分だけのパスワードを作ることができます。設定したい画像を選び、円、直線、クリックを組み合わせて表示された画像をなぞります。ジェスチャの大きさ、位置、方向が、自分のピクチャパスワードに含まれます。

ピクチャパスワードの設定

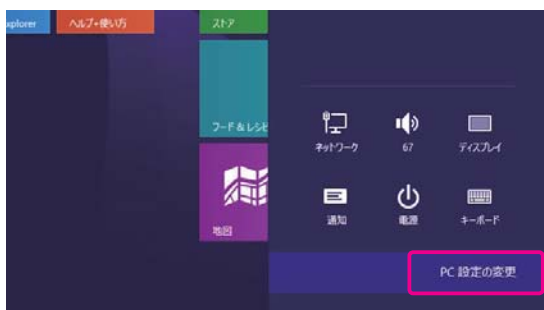
1. 「チャーム」を表示して、「設定」をクリックします。



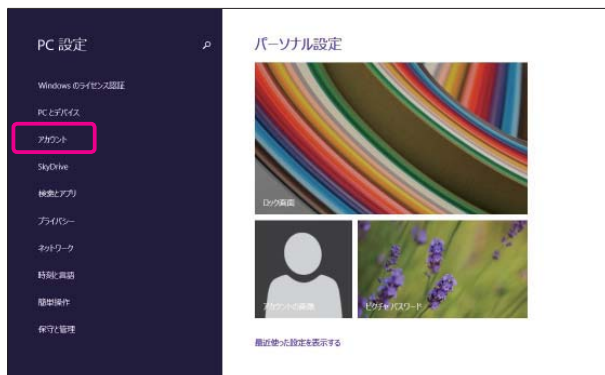
ワンポイント

「Windows」キーを押しながら、「C」キーを押すことで、チャームを表示させることができます。

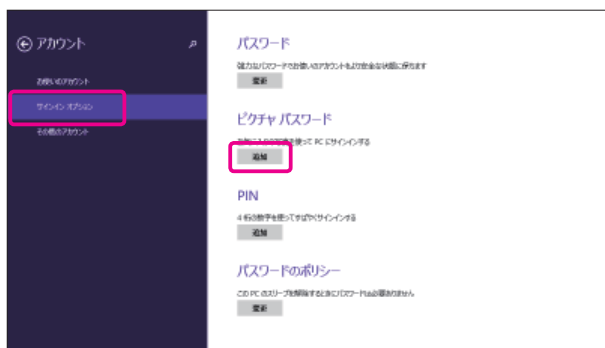
2. 画面右下「PC 設定の変更」をクリックします。



3. 「アカウント」をクリックします。



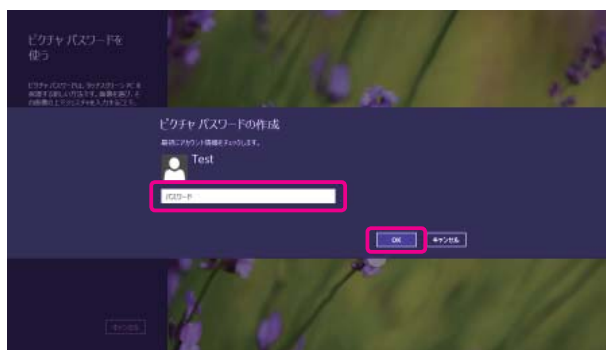
4. 「サインインオプション」をクリックし、ピクチャパスワードの「追加」をクリックします。



注意

ピクチャパスワードを設定するには、アカウントにパスワードを設定する必要があります。

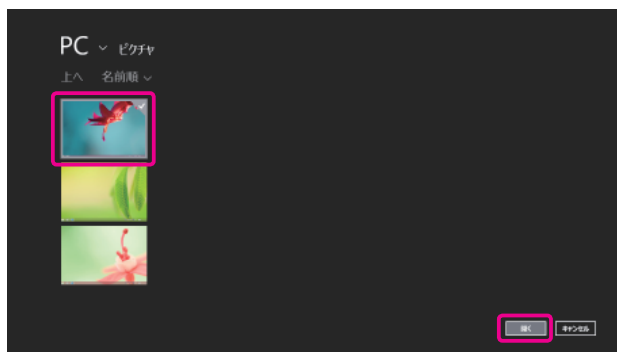
5. 現在使用しているアカウントのパスワードを入力し、「OK」をクリックします。



6. 「画像を選ぶ」をクリックします。



7. 使用する画像を選択し、「開く」をクリックします。

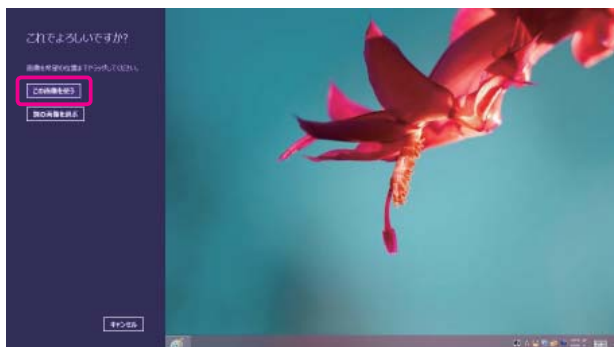


ワンポイント

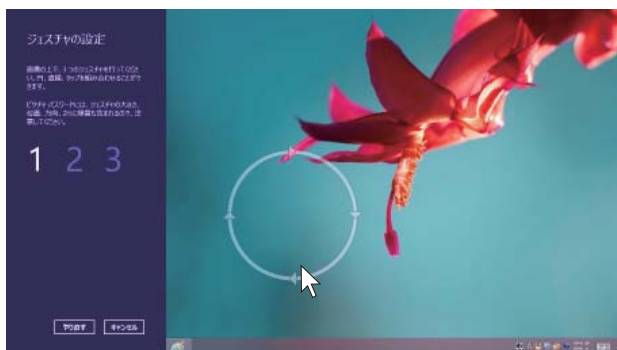
「ピクチャ」に保存されている画像が表示されます。「ピクチャ」以外に保存している画像を選ぶには、「ファイル」をクリックして、保存場所を選択します。



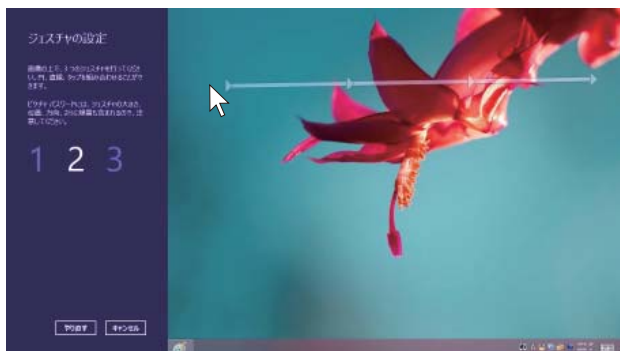
8. 「この画像を使う」をクリックします。



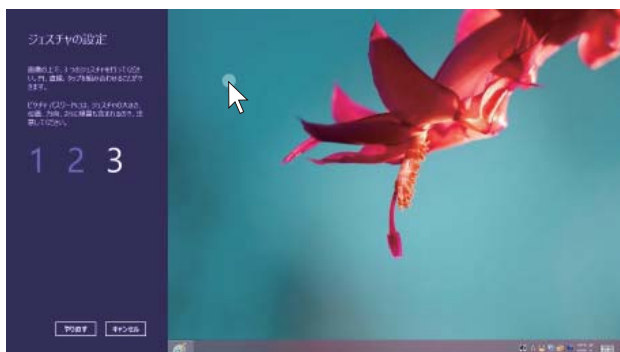
9. 選択した画像の上で、円・直線・クリックの3種類を組み合わせ、3つのジェスチャを設定します。まず、マウス左ボタンを押しながら、円のジェスチャを設定します。



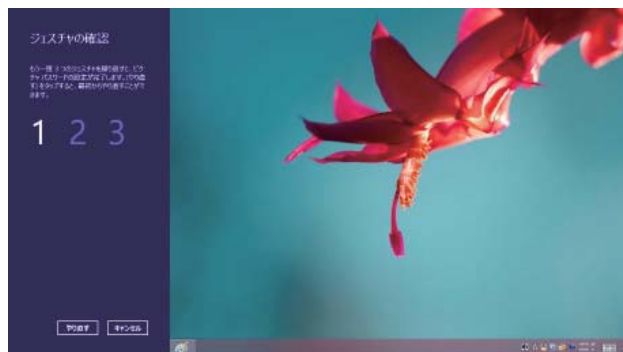
10. 次に、マウス左ボタンを押しながら、直線のジェスチャを設定します。



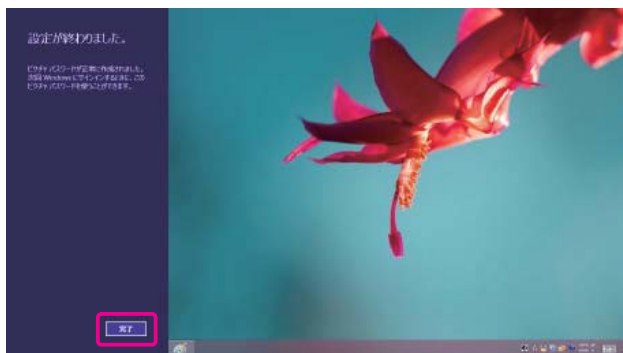
11. 最後に、タップのジェスチャを設定します。



12. 「ジェスチャの確認」画面が表示されます。もう一度、円→直線→クリックの順でジェスチャを繰り返します。



13. 「完了」をクリックし、操作完了です。



14. 次回より、ピクチャパスワードを入力してサインインを行います。

ピクチャパスワードの削除

1. サインイン オプションにピクチャパスワードの「削除」が表示されます。「削除」をクリックします。



MEMO

CHAPTER

1

2

3

4

5

6

7

8

ローカルアカウントを Microsoft アカウントに切り替える

使用しているローカルアカウントを Microsoft アカウントに切り替えることができます。

Microsoft アカウントへの切り替え (Microsoft アカウントをお持ちの場合)

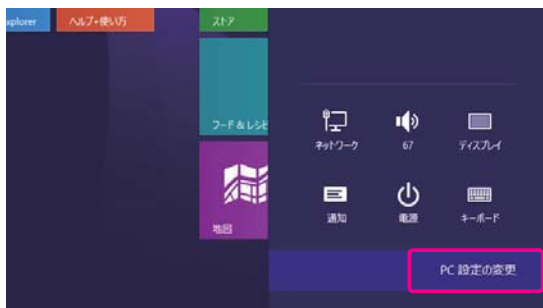
1. 「チャーム」を表示して、「設定」をクリックします。



ワンポイント

「Windows」キーを押しながら、「C」キーを押すことで、チャームを表示させることができます。

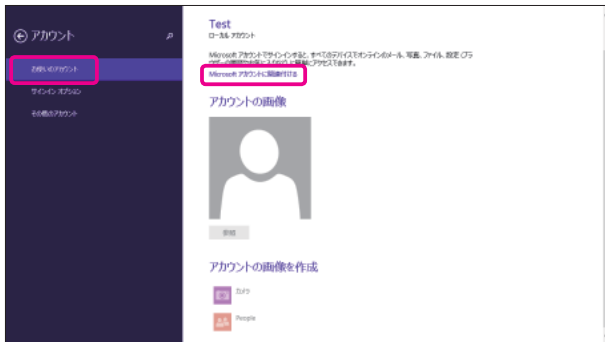
2. 画面右下「PC 設定の変更」をクリックします。



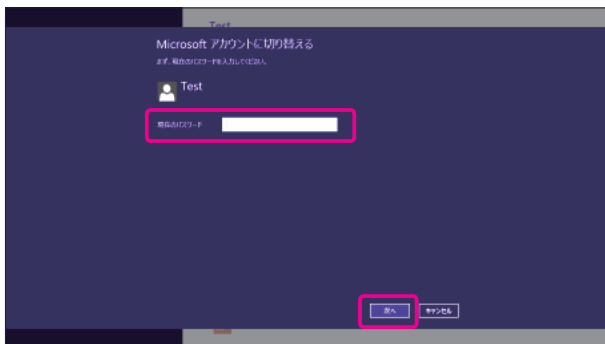
3. 「アカウント」をクリックします。



4. 「お使いのアカウント」をクリックし、「Microsoft アカウントに関連付ける」をクリックします。

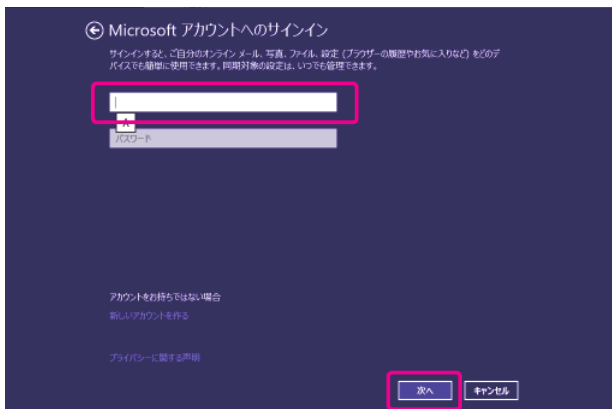


5. ローカルアカウントで使用しているパスワードを入力し、「次へ」をクリックします。



6. Microsoft アカウントへのサインイン登録画面が表示されます。アカウント名（メールアドレス）を入力し、「次へ」をクリックします。

※ Microsoft アカウントをお持ちでなく、新しく作成してサインインする場合は、102ページ「Microsoft アカウントへの切り替え（Microsoft アカウントをお持ちでない場合）」へお進みください。



7. コードの受け取り方法を選択し、「次へ」をクリックします。

情報の保護にご協力ください

お使いのアカウントまたはデバイスからプライバシーにかかわる情報へのアクセスがあった場合や、疑わしいアカウント活動が検出された場合は、IDを確認するために、セキュリティコードの入力をお願いします（このデバイスに頻繁にサインインしている場合は、この場合もコードの入力をお願いします）。

コードの受け取り方法

メールを送信

コードを持っている場合

今はいらない

次へ キャンセル

8. 受け取ったコードを入力し、「次へ」をクリックします。

受け取ったコードを入力してください

お使いのアカウントまたはデバイスからプライバシーにかかわる情報へのアクセスがあった場合や、疑わしいアカウント活動が検出された場合は、IDを確認するために、セキュリティコードの入力をお願いします（このデバイスに頻繁にサインインしている場合は、この場合もコードの入力をお願いします）。

メールアドレス、おぼつかないコードを入力してください

別の確認方法を使う

今はいらない

次へ キャンセル

9. 内容を確認し、「Next」をクリックします。

SkyDrive はクラウドストレージです

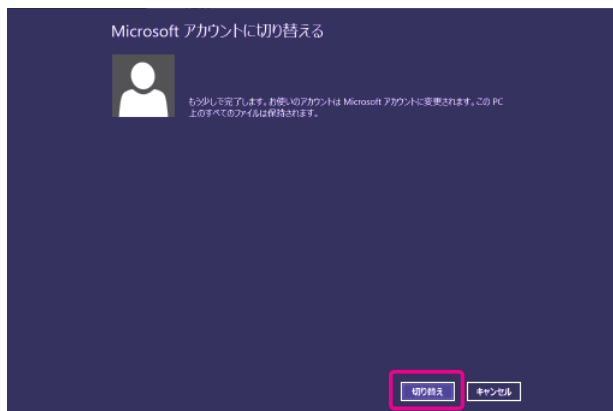
カメラロールと PC 設定を自動的にクラウドにバックアップ。作成した新しいドキュメントも設定で SkyDrive に保存することで、PC に問題が発生してもどのデバイスからでもアクセスできます。

撮影した写真 ドキュメント PC 設定

これらの SkyDrive 設定も無効にする（推奨しません）
Privacy policy

Next キャンセル

10. 内容を確認し、「切り替え」をクリックします。



以上でお持ちの Microsoft アカウントを使った場合の、Microsoft アカウントへの切り替えは終了しました。

Microsoft アカウントへの切り替え (Microsoft アカウントをお持ちでない場合)

手順 1 ～ 5 は Microsoft アカウントをお持ちの場合と同じになります。引き続き、次の手順 6 の作業を行ってください。



6. Microsoft アカウントへのサインイン登録画面が表示されます。「新しいアカウントを作る」をクリックします。

7. Microsoft アカウント情報を入力します。すべての入力を終えたら、「次へ」をクリックします。

8. 追加の情報を入力します。すべての入力を終えたら、「次へ」をクリックします。

④ セキュリティ情報の追加

この情報により、アカウントとデバイスの安全性を高めることができます。この情報は、パスワードを復元する際にのみ使われます。

生年月日 年 月 日

携帯電話のメール アドレスまたは電話番号 日本

連絡用メール アドレス

秘密の質問 いずれかを選択してください

答え

次へ キャンセル

9. 表示されている文字を入力します。問題なく入力できたら、「次へ」をクリックします。

④ コミュニケーション設定

☒ Microsoft Advertising によるアカウント情報の利用を許可して、オンライン サービスの質を高める。この設定はいつでも変更できます。詳細情報

☒ Microsoft のキャンペーンに関するお知らせを受け取る。この設定はいつでも解除できます。

この PC に実際にお客様がサインインしていることを確認させていただきます。

表示されている文字を入力してください

QRコード

QRコードを読み取る

[次へ] をクリックすると、Microsoft サービス利用およびプライバシー Cookie に関する声明に同意したものと見なされます。

次へ キャンセル

10. コードの受け取り方法を選択し、「次へ」をクリックします。

④ 情報の保護にご協力ください

お使いのアカウントまたはデバイスからプライバシーにかかわる情報へのアクセスがあった場合や、疑わしいアカウント活動が検出された場合は、ID を確認するために、セキュリティコードの入力を求められます (このデバイスに接続してサインインしている場合は、この場合もコードの入力をお断りしません)。

コードの受け取りの方法

メールを送信

コードを持っている場合

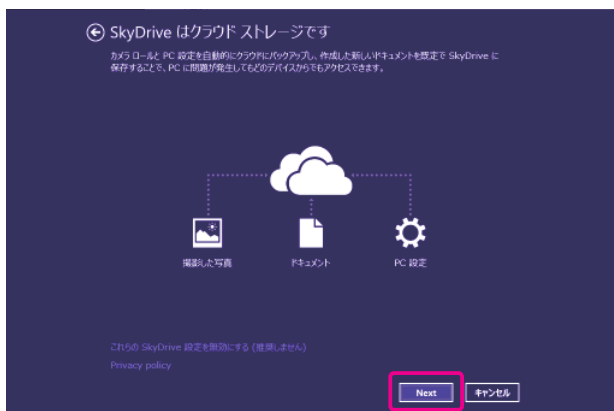
今は行わない

次へ キャンセル

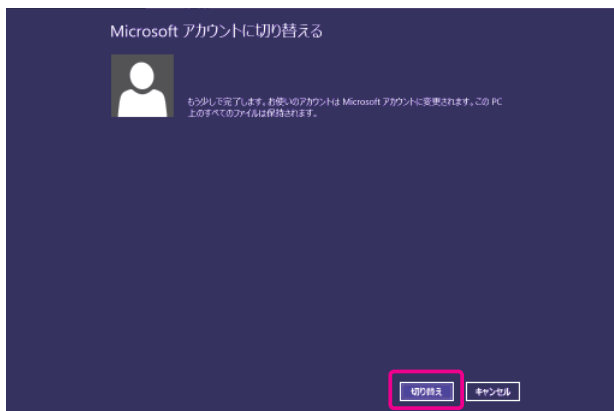
11. 受け取ったコードを入力し、「次へ」をクリックします。



12. 内容を確認し、「Next」をクリックします。



13. 内容を確認し、「切り替え」をクリックします。



以上で新しいアカウントを作った場合の、Microsoft アカウントへの切り替えは終了しました。

MEMO

CHAPTER

1

2

3

4

5

6

7

9

Microsoft アカウントを ローカルアカウントに切り替える

Microsoft アカウントからローカルアカウントに切り替える際は、Windows からサインアウトする必要があります。作業中のデータがある場合は、必ず保存してから切り替えを行ってください。

ローカルアカウントへの切り替え

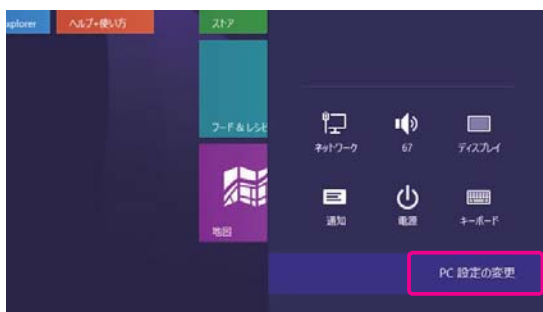
1. 「チャーム」を表示して、「設定」をクリックします。



ワンポイント

「Windows」キーを押しながら、「C」キーを押すことで、チャームを表示させることができます。

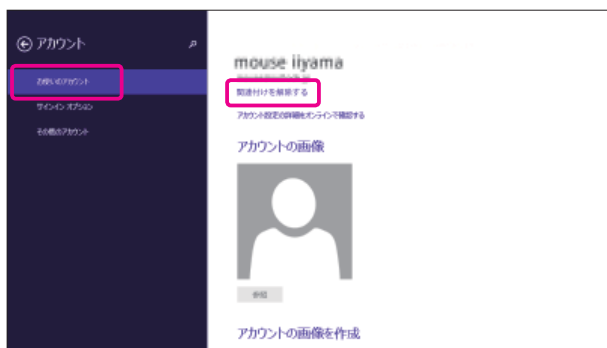
2. 画面右下「PC 設定の変更」をクリックします。



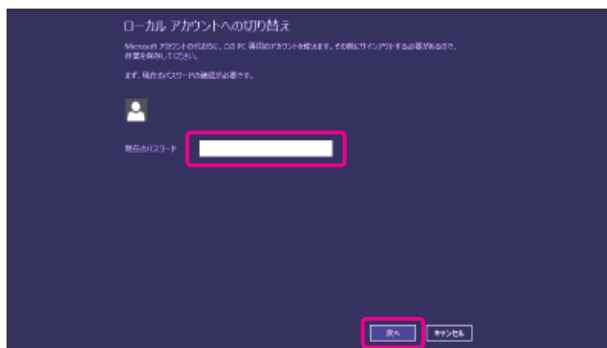
3. 「アカウント」をクリックします。



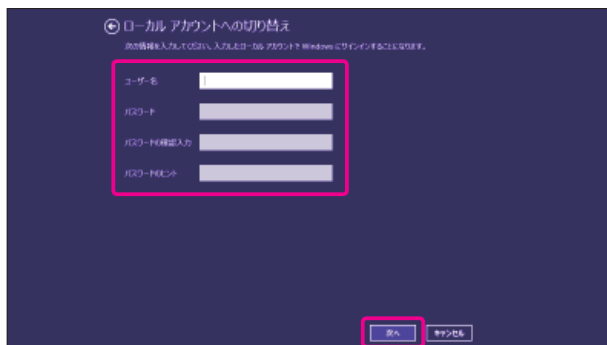
4. 「お使いのアカウント」をクリックし、「関連付けを解除する」をクリックします。



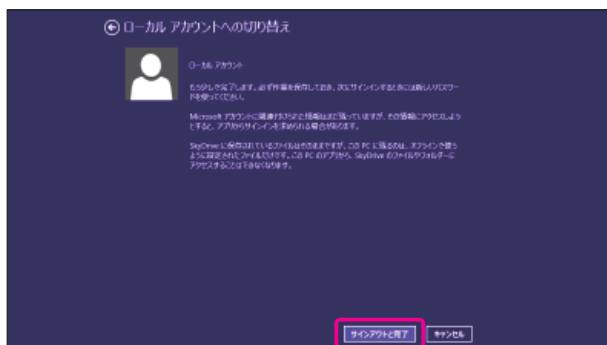
5. Microsoft アカウントのパスワードを入力し、「次へ」をクリックします。



6. ローカルアカウントで使用するユーザー名・パスワード等を入力し、「次へ」をクリックします。



7. 「サインアウトと完了」をクリックします。



8. 自動的にサインアウトします。設定したユーザー名でサインインします。

Windows の バックアップ

システムの復元、回復パーティションのバックアップについて説明します。

- 1 ● システムの復元 110
- 2 ● 回復ドライブの作成 114

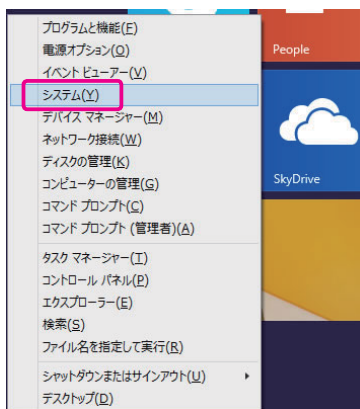
1

システムの復元

システムの設定変更後に、Windows の動作が不安定になった場合、システムの復元を行うことで、設定変更前の時点に戻し、正常に動作していた状態に回復できる可能性があります。

手動での復元ポイント作成

1. 「Windows」+「X」キーを同時に押します。画面左下に表示されたメニューから「システム」をクリックします。



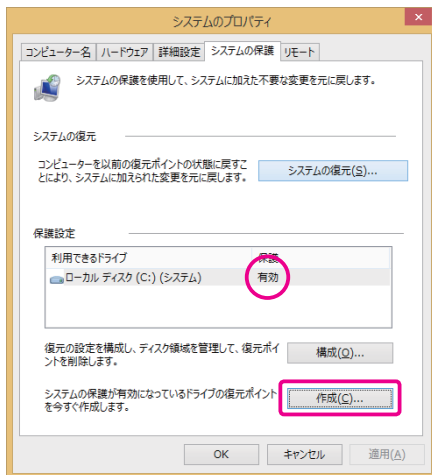
ワンポイント

システムの復元に使われる復元ポイントは、Windows 8.1 によって自動的に作成されます。ドライバの更新、WindowsUpdate、新規アプリケーションのインストールなど、Windows にとって重要な変更が行われた際に自動的に復元ポイントが作成されます。

2. 「システムの保護」をクリックします。

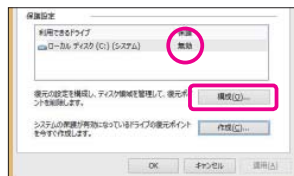


3. 保護設定が有効になっていることを確認し、「作成」をクリックします。



ワンポイント

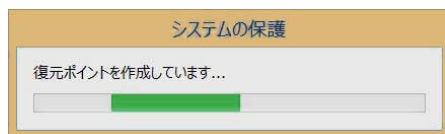
保護設定が有効になっていない場合は、「構成」→「システムの保護を有効にする」にチェックを入れます。



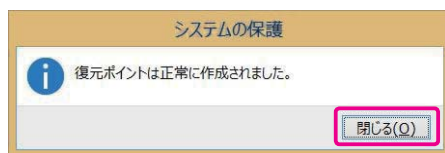
4. 復元ポイントの識別に役立つ名前を入力し、「作成」をクリックします。



5. 復元ポイントの作成中です。しばらくお待ちください。

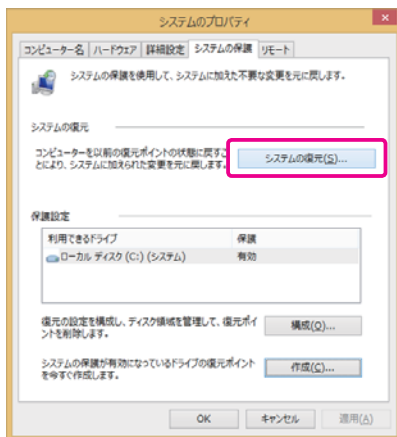


6. 「閉じる」をクリックします。



システムの復元を実行する

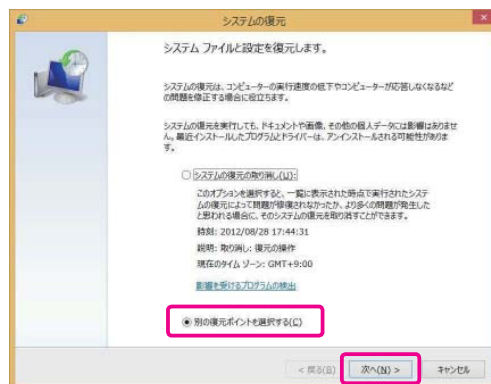
1. 「システムの復元」をクリックします。



2. 「次へ」をクリックします。(過去に復元を実施した場合、手順3の画面になります)



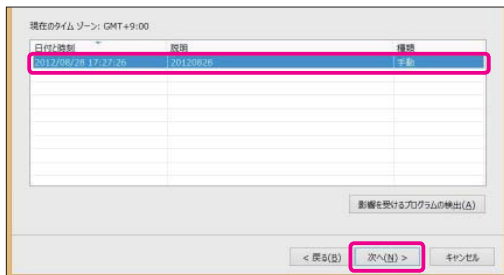
3. 「別の復元ポイントを選択する」にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。



ワンポイント

実施したシステムの復元を取り消す場合は、「システムの復元の取り消し」にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。

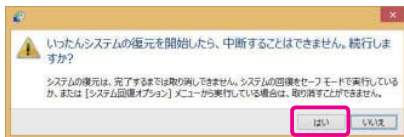
4. 復元ポイントを選択し、「次へ」をクリックします。



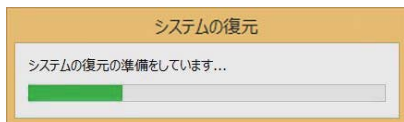
5. 復元ポイントを確認し、「完了」をクリックします。



6. 注意事項を確認し、「はい」をクリックします。



7. システムの復元がスタートします。そのまましばらくお待ちください。



8. 再起動後、システムの復元が完了した確認メッセージが表示されます。「閉じる」をクリックします。



2

回復ドライブの作成

Windows 8.1 搭載モデルでは、ハードディスクリカバリ領域をコピーして、回復ドライブを作成することができます。製品の起動トラブルに備えて、回復ドライブをあらかじめ作成しておくことをお勧めいたします。

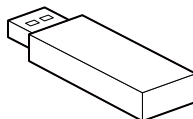
回復ドライブ作成手順

1. チャームを表示して、「検索」をクリックします。



注意

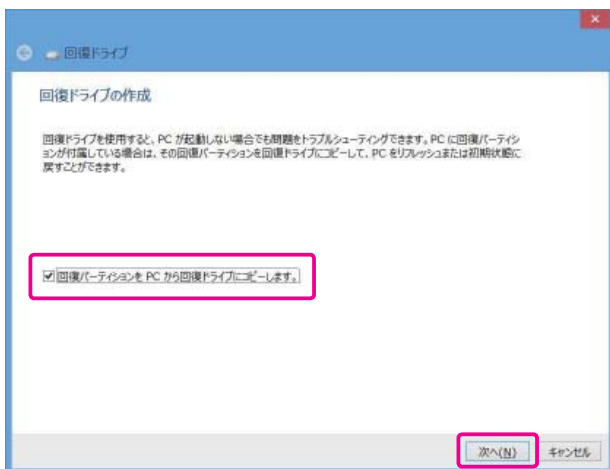
作業を行うには、8GB ～ 16GB の容量のある USB メモリが必要になります。(製品の初期容量により必要な USB メモリの容量が異なります。)



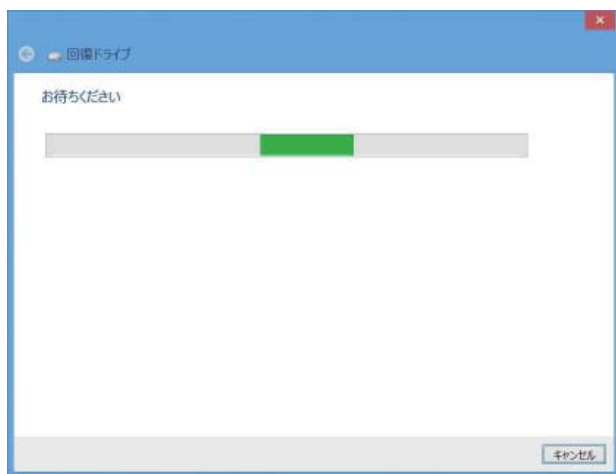
2. 検索窓に「回復」と入力し、「回復ドライブの作成」をクリックします。



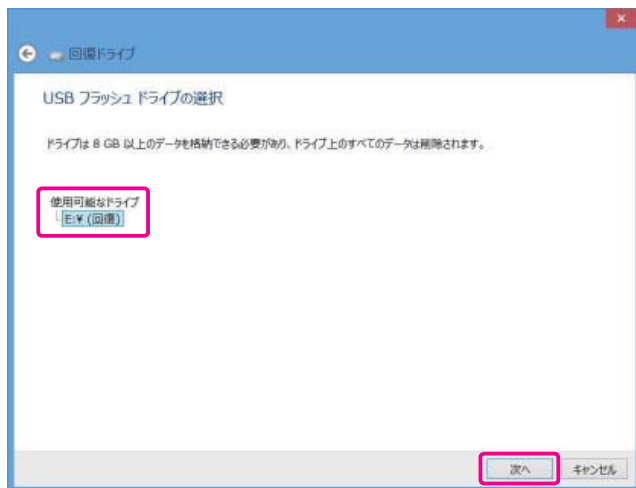
- 3.「回復パーティションを PC から回復ドライブにコピーします」にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。



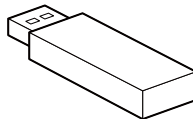
4. そのまましばらくお待ちください。



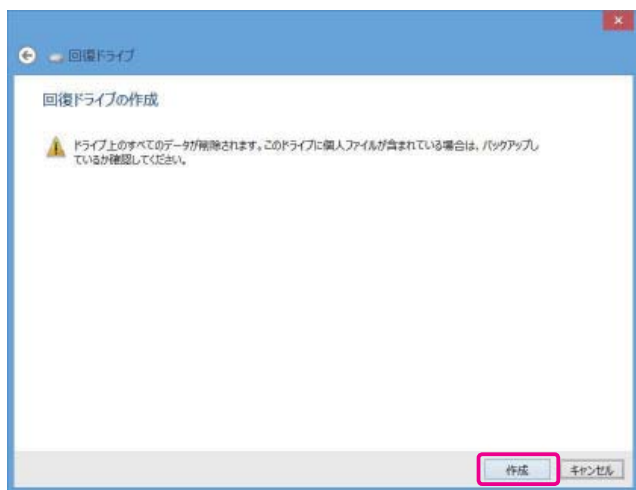
5. リカバリー領域のコピー先を選択し、「次へ」をクリックします。

**注意**

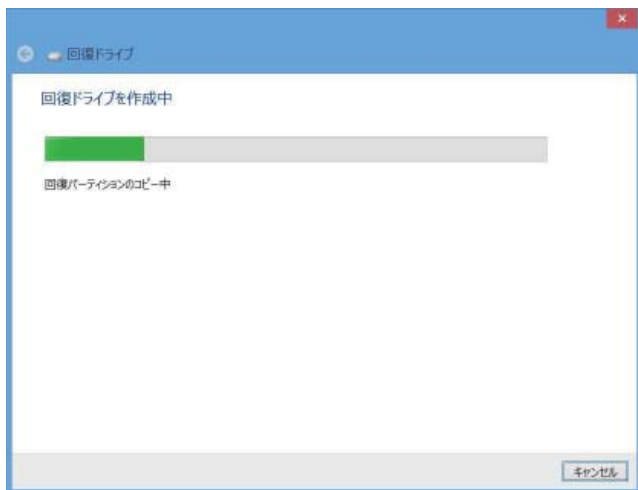
ご利用の製品の初期容量により、左図の場面で「16GB以上の容量のあるUSBメモリが必要」と表示される場合があります。その際は16GBのUSBメモリをご用意ください。



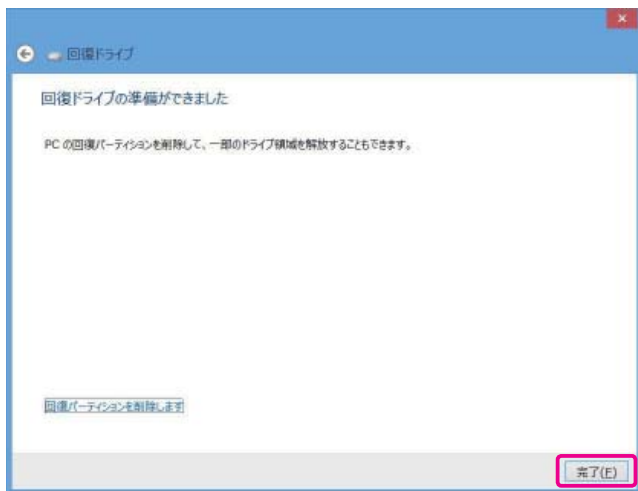
6. 「作成」をクリックします。



7. リカバリ領域のコピー中です。そのままお待ちください。



8. 「完了」をクリックします。



注意

「回復パーティションを削除します」をクリックすると、ハードディスク上のリカバリ領域が削除されてしまいます。削除してしまうと、「PC リフレッシュ」・「すべてを削除して Windows を再インストールする」(別途マニュアル参照)などのハードディスクからのリカバリができなくなります。その場合、バックアップした USB ディスクからのリカバリ作業となります。

MEMO

[illegible]

ショートカットキー

Windows 8.1 の操作で、覚えておくと便利な Windows キーを使ったショートカットキーをご紹介します。

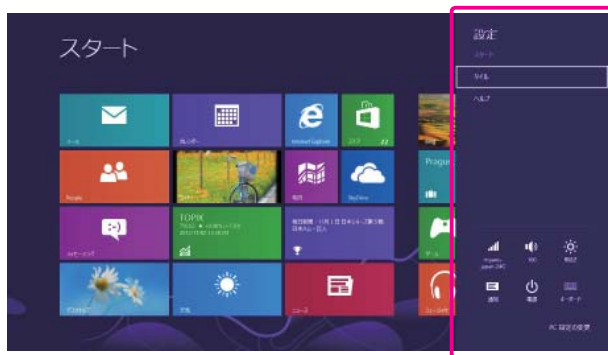
1 ● Windows キーを使ったショートカット一覧	120
-----------------------------------	-----

1

Windows キーを使ったショートカット一覧

「Windows」 + 「I」 キー

- 設定チャームを表示します。



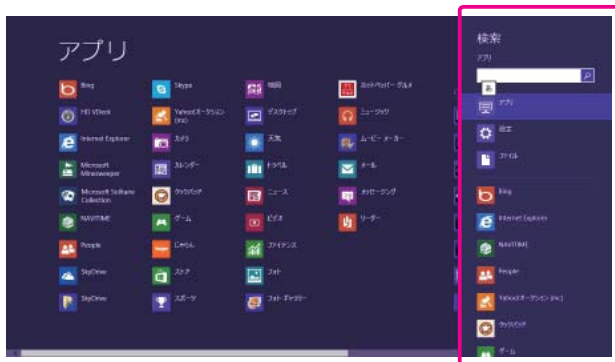
「Windows」 + 「C」 キー

- チャームを表示します。



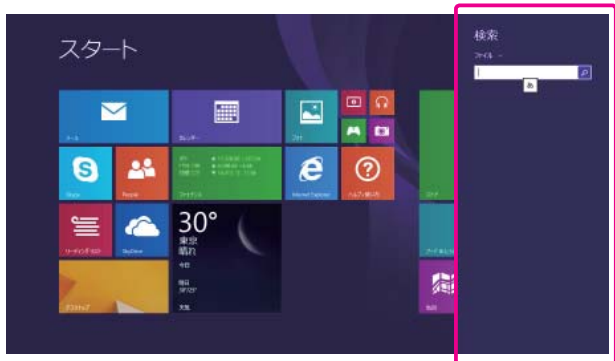
「Windows」 + 「Q」 キー

- 検索チャームのアプリ検索を表示します。



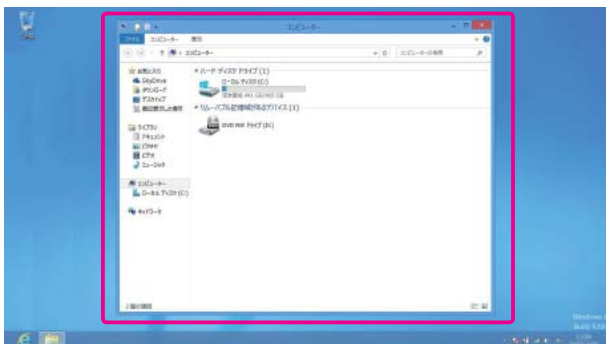
「Windows」 + 「F」 キー

- 検索チャームのファイル検索を表示します。



「Windows」 + 「E」 キー

- Windows デスクトップに切り替え、エクスプローラーを表示します。



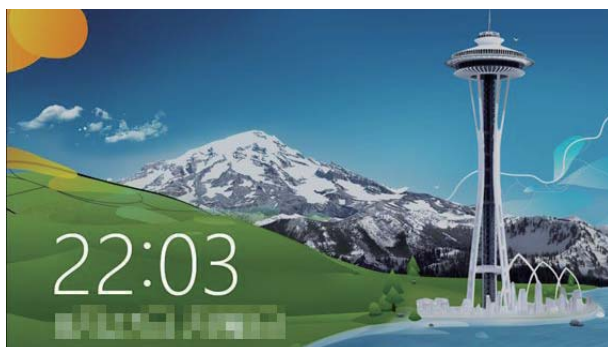
「Windows」 + 「Tab」 キー

- 起動中のアプリ一覧を表示します。



「Windows」 + 「L」 キー

- パソコンをロックし、ロック画面を表示します。



注意

ロック画面の画像は、使用環境によって異なります。

「Windows」 + 「Z」 キー

- アプリバーを表示します。



MEMO

[illegible]